

令和6年度 焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）

図面目録														
図 種	図面番号	図 面 名 称	図 種	図面番号	図 面 名 称	図 種	図面番号	図 面 名 称	図 種	図面番号	図 面 名 称	図 種	図面番号	図 面 名 称
意匠	A－ 1	図面目録	意匠	A－ 5 5	建具詳細図（2）（WD17・アウトセット上吊引戸）	土地利用	葉中 1	位置図・案内図	構造	S－	構造図面目録による			
	A－ 2	建築物概要書・敷地案内図		A－ 5 6	建具詳細図（3）（ガラスパーティション）		葉中 2	公図写						
	A－ 3	建築工事特記仕様書（1）		A－ 5 7	建具詳細図（4）（AW-1周り①）		葉中 3	現況平面図						
	A－ 4	建築工事特記仕様書（2）		A－ 5 8	建具詳細図（5）（AW-1周り②）		葉中 4	実測求積図						
	A－ 5	建築工事特記仕様書（3）		A－ 5 9	建具詳細図（6）（AW-1周り③）		葉中 5	土地利用計画平面図						
	A－ 6	建築工事特記仕様書（4）		A－ 6 0	建具詳細図（7）（SPD-1）		葉中 6	造成計画平面図						
	A－ 7	建築工事特記仕様書（5）		A－ 6 1	建具詳細図（8）（SW）		葉中 7	造成計画縦断面図						
	A－ 8	建築工事特記仕様書（6）		A－ 6 2	家具図（1）		葉中 8	造成計画横断面図（2-1）						
	A－ 9	建築工事特記仕様書（7）		A－ 6 3	家具図（2）		葉中 9	造成計画横断面図（2-2）						
	A－1 0	建築工事特記仕様書（8）		A－ 6 4	家具図（3）		葉中 10	給排水平面図						
	A－1 1	建築工事特記仕様書（9）		A－ 6 5	家具図（4）		葉中 11	緑化計画平面図						
	A－1 2 ¹ / ₆	建築木造工事特記仕様書（1）～（3）使用材料表・別紙		A－ 6 6	家具図（5）		葉中 12	構造図（1）						
	A－1 3 ¹ / ₄	建築工事別表・非構造部材特記事項		A－ 6 7	家具図（6）		葉中 13	構造図（2）						
	A－1 4	建築施工条件特記仕様書		A－ 6 8	床構成詳細図		葉中 14	構造図（3）						
	A－1 5	面積表（1）		A－ 6 8－2	1階床伏図		葉中 15	構造図（4）						
	A－1 6	面積表（2）		A－ 6 8－3	2階床伏図		葉中 16	構造図（5）						
	A－1 7	建築基準法チェックリスト（1）		A－ 6 9	部分詳細図（1）（階段-1）		葉中 17	構造図（6）						
	A－1 8	建築基準法チェックリスト（2）		A－ 7 0	部分詳細図（2）（吹抜け手摺）		葉中 18	構造図（7）						
	A－1 9	建築基準法チェックリスト（3）		A－ 7 1	部分詳細図（3）（階段-2）		葉中 19	構造図（8）						
	A－2 0	日影図		A－ 7 2	部分詳細図（4）（階段-2）		葉中 20	構造図（9）						
	A－2 1	仕上表（1）		A－ 7 3	部分詳細図（5）（階段-2 手摺）		葉中 21	構造図（10）						
	A－2 2	仕上表（2）		A－ 7 3－2	部分詳細図（5-2）（階段下フェンス）		葉中 22	構造図（11）						
	A－2 3	配置図		A－ 7 4	部分詳細図（6）（吊折板底屋根）		葉中 23	構造図（12）						
	A－2 4	1階平面詳細図		A－ 7 5	部分詳細図（7）（避難バルコニー）		葉中 24	構造図（13）						
	A－2 5	2階平面詳細図		A－ 7 6	部分詳細図（8）（子育て支援室専用庭）		葉中 25	舗装面積図						
	A－2 6	R階平面詳細図		A－ 7 7	部分詳細図（9）（屋上設備基礎）		葉中 26	区画線設置図						
	A－2 7	立面図		A－ 7 8	部分詳細図（10）（屋上設備基礎）		葉中 27	舗装取壊し						
	A－2 8	断面図（1）		A－ 7 8－2	部分詳細図（10-2）受水槽・フロア 基礎		葉中 28	取壊し工（2-1）						
	A－2 9	断面図（2）		A－ 7 9	部分詳細図（11）（図書室カウンター）		葉中 29	取壊し工（2-2）						
	A－3 0	矩計図（1）		A－ 8 0	部分詳細図（12）（まちのえんがわ）		葉中 30	道路工事承認図1						
	A－3 1	矩計図（2）		A－ 8 1	部分詳細図（13）（まちのえんがわ）		葉中 31	道路工事承認図2						
	A－3 2	矩計図（3）		A－ 8 2	部分詳細図（14）		葉中 32	道路工事承認図3						
	A－3 3	展開図（1）		A－ 8 3	部分詳細図（15）		葉中 33	道路占用1						
	A－3 4	展開図（2）		A－ 8 4	部分詳細図（16）（スクリーン）		葉中 34	道路占用2						
	A－3 5	展開図（3）		A－ 8 5	部分詳細図（17）（機械室・屋内消火栓ビット）		葉中 35	区画割求積図						
	A－3 6	展開図（4）		A－ 8 6	部分詳細図（18）（可動ステージ）		※葉中※	仮調整池						
	A－3 7	展開図（5）		A－ 8 7	外構平面図									
	A－3 8	展開図（6）		A－ 8 8	外構詳細図（1）（駐輪場）									
	A－3 9	展開図（7）		A－ 8 9	外構詳細図（2）（独立型インターホン）									
	A－4 0	展開図（8）		A－ 9 0	外構詳細図（3）									
	A－4 1	展開図（9）	昇降機	A－ 9 1	サイン工事1階キープラン									
	A－4 2	展開図（10）		A－ 9 2	サイン工事2階キープラン									
	A－4 3	展開図（11）		A－ 9 3	サイン工事詳細図（1）									
	A－4 4	展開図（12）		A－ 9 4	サイン工事詳細図（2）									
	A－4 5	1階天井伏図		A－ 9 5	参考総合仮設計画図（1）									
	A－4 6	2階天井伏図		A－ 9 6	参考総合仮設計画図（2）									
	A－4 7	建具表1階キープラン		A－ 9 7	概略工事工程表									
	A－4 8	建具表2階キープラン		A－ 9 8	外構別途工事一覧表									
	A－4 9	建具表（1）		E V－1	昇降機設備図（1）									
	A－5 0	建具表（2）		E V－2	昇降機設備図（2）									
	A－5 1	建具表（3）		E V－3	昇降機設備図（3）									
	A－5 2	建具表（4）		E V－4	昇降機設備図（4）									
	A－5 3	建具表（5）		E V－5	昇降機設備図（5）									
	A－5 4	建具詳細図（1）（WD16・WD23）												

工 事 名		図 面 内 容		縮 尺	担 当	検 図	年 月 日	 株 式 会 社 水 野 建 築 事 務 所 静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955	一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 水 野 芳 康	図 番
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）		図面目録		S	水野芳康 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21			A－01



データ名	973-1	Yn	Yn+1	Yn+2	Xn(Yn+1 - Yn+1)
KP1	1259904.204	-18888.407	-10.102	-1717884.76808	
KP2	1259903.560	-18876.984	15.017	-1800693.766520	
KP3	1259902.357	-18873.290	6.877	-65126.366	
P1	1259912.699	-18876.307	-3.099	390203.245420	
P2	1259816.430	-18876.489	-0.397	49988.822710	
PK1	1259904.451	-18876.704	0.026	-3233.321730	
MP9	1259924.380	-18887.403	-10.378	1306843.215640	
MP10	1259824.683	-18887.082	-10.623	1137597.907300	
MP7	1259923.863	-18887.088	-1.325	16685.663470	
				493.984972	
				2964.963930	
				246.6988	
				184.212070	
				184.2120	

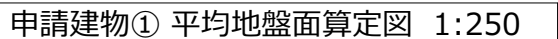
⑤

データ名	973-4,973-5	Yn	Yn+1	Yn+2	Xn(Yn+1 - Yn+1)
KP1	1259904.204	-18876.984	-4.253	158819.576080	
P1	1259883.472	-18878.143	13.817	-173933.912624	
P11	1259882.608	-18886.167	5.978	752526.230624	
P12	1259900.291	-18872.165	-1.225	187078.078330	
MP8	1259903.357	-18873.390	-4.819	607628.277832	
				184.215070	
				184.2120	

⑥

データ名	965-6	Yn	Yn+1	Yn+2	Xn(Yn+1 - Yn+1)
P2	1258857.590	-18949.561	-71.473	1899453.720070	
P1	1258866.687	-18949.616	94.438	-1888684.477416	
P11	1258863.244	-18955.123	108.021	-134661.963330	
P11	1258880.569	-18943.595	11.216	-141876.461948	
P11	1258880.498	-18943.597	19.572	-254673.765330	
P11	1258880.688	-18963.167	24.326	430971.967080	
P10	1258883.472	-18878.143	-86.394	1087552.679588	
				184.215070	
				184.2120	
				96.3999240	
				96.399390	

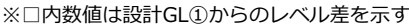
地盤計測 5182.70m



申請建物①
設計GL① = FH8.33 [m] = FL-150 [mm]
平均地盤面① = -16,990,600 / 148,100 = -114.72
→ -114 [mm]
平均地盤面① = 設計GL①-114 [mm]

申請建物②
設計GL② = FH8.19 [m]
平均地盤面② = +842,800 / 24,080 + FH8,330 - FH8,190 = +105
→ +105 [mm]
平均地盤面② = 設計GL②+105 [mm]

申請建物①+申請建物②
設計GL① = FH8.33
平均地盤面③ = (-16,990,600 + 842,800) / (148,100 + 24,080) = -93.78
→ -93 [mm]
平均地盤面③ = 設計GL①-93 [mm]
= 設計GL② - 93 + FH8,330 - FH8,190
= 設計GL②+47 [mm]



申請建物② 平均地盤面算定図 1:250

申請建物② 平均地盤面算定表

計算式	地盤面高さ	周長	面積
①-②	(-140+70) ×	10,020 / 2	= -350,700
②-③	(+70+70) ×	2,020 / 2	= +141,400
③-④	(+70-140) ×	10,020 / 2	= -350,700
④-①	(-140-140) ×	2,020 / 2	= -282,800
	計	24,080	計 -842,800

工 事 名	図 面 内 容	縮 尺	担 当	検 図	年 月 日	 株 式 水 野 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955 水 野 芳 康	図 番
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）	敷地求積図・平均地盤面算定図	S 1:250, 1:500	水野芳康 一級建築士 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21		A-02-2

3章 土工事

○1 埋戻し及び盛土

材料および工法

※ 標準仕様書表3.2.2.1による

種類	適用場所	土質	受渡場所
・ A種			
○ B種	地下貯留槽・基礎		
○ C種	地下貯留槽・基礎		場内仮置
・ D種			

2 建設発生土の処理

場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。

搬出場所：(株)鈴木土建

受入条件：最大粒径300mm程度、最大運搬可能量200㎡/日、必要に応じて土質調査 他

処分費：3,000円/㎡

仮置き場：場内一時仮置き

土壌汚染のおそれ

該当有害物質：

分析調査：

調査対象：※静岡県盛土等の規則に関する条例施行規則 別表第1の29物質

場内指定場所に敷き均し

・図示

・場内指定場所に堆積

・図示

静岡県建設発生土マッチングアプリシステム等により他工事現場との調整を行うこと。

なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。

○3 建設汚泥の処理

処理対象

処理方法

※ 再生資源化施設へ搬出

なお、「建設汚泥の再利用に関するガイドライン（平成18年6月12日国土交通省）」により建設汚泥の発生量の抑制に努めること。

○4 設計地耐力

※ 図示

○5 山留め

鋼矢板等の抜き後の処理

山留めの残置

残置範囲

※ 直ちに砂等で充填する

・無し

・有り

※ 図示

4章 地業工事

○1 支持地盤等

杭基礎

・支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）

・直接基礎

・支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む）

試験掘り（根切り底の状態の確認等）

位置等

・図示

・杭の載荷試験

載荷試験の方法

・鉛直載荷試験

・地盤工学会基準JGS()による

・水平載荷試験

・地盤工学会基準JGS1831による

試験の位置、本数、載荷荷重

報告書の記載事項

・図示による

・平板載荷試験

・地盤工学会基準JGS15211による

試験の位置、載荷荷重

報告書の記載事項

・図示による

○2 既製コンクリート杭地業

種類

○ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）

・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）

○ 外殻鋼管付きコンクリート杭（SCF杭）

鋼管材料

・SKK400

・SKK490

杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継ぎ手の個所数等									
試験杭	種類	種別	コンクリート強度(N/mm2)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(m)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)
上杭	HIT-SG11	SD16							
中杭			105	500	80	16	1	1	1980
下杭	HIT-PHC	SD16							
上杭	HIT-SG11	SD16							
中杭			105	400	65	16	1	30	1360
下杭	HIT-PHC	SD16							
			※他は図示						

杭先端部形状

工法

・セメント工法

試験杭

試験杭の位置

掘削深さ

杭の支持層への根入れ深さ

杭の精度

水平方向の位置ずれ

杭の精度

水平方向の位置ずれ

根固め液及び杭間固定液の管理試験

標準仕様書4.3.4(6) (c)による

○ 特定埋込杭工法

・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法

○ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが下記の値を採用できる工法

α = (363) β = (6.2) γ = (0.62)

工法

○ プレバレーション杭大根固め工法

・使用中

・使用しない

杭周固定液

試験杭

試験杭の位置

杭の支持層への根入れ長さ

杭の精度

水平方向の位置ずれ

建込み時の杭の鉛直度

杭の継手の工法

・7-7溶接継手

溶接材料

・標準仕様書7.2.5(1) (2)による

・図示

○ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）

工法

※ 評定等を受けた工法

杭頭の処理等

○ 処理する

・処理しない

処理方法(切断に伴う補強方法含む)

○ 図示

杭頭の中詰め材料

・基礎のコンクリートと同調合のもの

3 鋼杭地業									
(4.2.2) (4.3.8) (4.4.3) ~ (4.4.6)									
鋼杭の材料									
杭の種類、寸法、継手等									
種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(m)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考		
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

・特定埋込杭工法

・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法

・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが下記の値を採用できる工法

α = () β = () γ = ()

工法

試験杭

試験杭の位置

・図示

杭の支持層への根入れ長さ

・評定等の評価内容による

杭の精度

水平方向の位置ずれ

・評定等の評価内容による

建込み時の杭の鉛直度

・評定等の評価内容による

・杭の継手の工法

・7-7溶接継手

形状

・JIS A 5525による

溶接材料

・標準仕様書7.2.5(1) (2)による

・図示

・機械式継手

工法

※ 評定等を受けた工法

杭頭の処理等

・処理する

・処理しない

処理方法(切断に伴う補強方法含む)

・図示

杭頭の中詰め材料

・基礎のコンクリートと同調合のもの

4 場所打ちコンクリート杭地業

工法

・アースジェット工法

安定液

※ 使用する

・使用しない

・リベス工法

・セメント工法

孔内の水張り

・行う

・行わない

併用する工法

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

鋼管巻き材料

・SKK400

・SKK490

・掘削杭工法

安定液

※ 使用する

・使用しない

寸法等									
試験杭	種類	種別	コンクリート強度(N/mm2)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(m)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)
上杭									
中杭									
下杭									

試験杭

試験杭の位置

・図示

孔壁の保持状況（孔壁測定）

測定箇所

・試験杭 () 箇所及び本杭 () 箇所

杭の支持層への根入れ長さ

・図示

杭の精度

水平方向の位置ずれ

・杭径の1/4かつ100mm以下

・評定等の評価内容による

建込み時の杭の鉛直度

・1/100以内

・評定等の評価内容による

鉄筋の種類

種類の記号

呼び径 (mm)

備考

・SD295

・SD345

帯筋の加工及び組立

・図示

鉄筋の最小かぶり厚さ

・100mm

鉄筋かごの補強

組み立てた鉄筋の節ごとの継手

※ 重ね継手(重ね継手の長さ

・図示

・)

主筋の基礎底盤への定着長さ

・図示

セメントの種類

※ 高炉セメントB種[G]

コンクリートの設計基準強度

・図示

コンクリートの種類

・A種

・B種

・評定等の評価内容による

スラブ

※ 18cm

・21cm

構造体強度補正

※ 3N/mm2

・図示

・評定等の評価内容による

○5 砂利事業

材料

○ 再生フラッシュ[G]

・切込砂利及び切込砕石

範囲

○ 基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下

厚さ

※ 60mm

○ 図示

○6 捨コンクリート地業

範囲

・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下

○ 図示

厚さ

※ 50mm

設計基準強度

※ 18N/mm2

・

スラブ

※ 15cm又は18cm

・

コンクリートの種類

※ 普通コンクリート

・

○7 床下防湿

材料

○ エクシテンション厚さ0.15mm以上

範囲

○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(バットを除く)

砂利地業の上に直接施工する場合は、防湿層の下に目つぶし砂敷均し(t=30)

8 地盤改良工法

種類及び施工方法等

・図示による

5章 鉄筋工事

○1 鉄筋

鉄筋の種類等

種類の記号

呼び径 (mm)

備考

○ SD295

○ SD345

○ SD390

・

○ D16以下

○ D19〜D25

○ D29

・

○2 溶接金網

鉄線の形状等

種類

種類の記号

鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)

使用箇所

○ 溶接金網

・鉄筋格子

JISG3551

150×150 Φ4

屋上、避難バルコニー

○ 高強度せん断補強筋

・鉄筋格子

KW785

○3 鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等

部位

継手の方法

呼び径 (mm)

柱、梁の主筋

○ 〆ス圧接

・溶接継手

・機械式継手

○ 重ね継手

○ 重ね継手

耐力壁の鉄筋

○ 重ね継手

・

その他の鉄筋 ()

・重ね継手

・

継手位置

○ 図示

柱及び梁主筋の重ね継手の長さ

○ 図示

・

耐力壁の重ね継手の長さ

○ 図示

・

○4 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ

○ 図示

・

機械式定着工法

○ 適用する

・適用しない

適用場所

○ 図示

・

種類

・摩擦圧接接合

○ 螺ボルト固定

・嵌合ボルト固定

・

工法

※ 第三者機関の評定等を取得している工法とする

必要定着長さ

※ 評定等の評価内容による

補強筋形状

※ 評定等の評価内容による

かぶり厚さ

※ 評定等の評価内容による

品質確認

※ 評定等の評価内容による

検査

※ 評定等の評価内容による

○5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

最小かぶり厚さ

○ 図示

・

※ 目地底から算出を行う

軽量コンクリートに適用する場合

・有り

○ 無し

適用箇所

最小かぶり厚さに加える厚さ(mm)

・

耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)

・有り

・無し

適用箇所

・最小かぶり厚さに加える厚さ(mm)

・

○6 各部配筋

直接基礎の配筋

○ 図示

・

基礎接合部の補強配筋

○ 図示

・

基礎梁主筋の継手、定着及び余長

○ 図示

・

基礎梁のあばら筋

○ 図示

・

柱主筋の継手、定着及び余長

○ 図示

・

帯筋組立の形及び割付け

○ 図示

・

柱の打増し補強

○ 図示

・

大梁主筋の継手、定着及び余長

○ 図示

・

あばら筋の組立の形及び割付け等

○ 図示

・

梁の打増し補強

○ 図示

・

小梁主筋の継手、定着及び余長

○ 図示

・

片持梁主筋の定着及び余長

○ 図示

・

壁の配筋

○ 図示

・

壁の継手及び定着

○ 図示

・

壁の交差部及び端部の配筋

○ 図示

・

壁の開口部補強

○ 図示

・

壁の打増し補強

○ 図示

・

ベランダの配筋

○ 図示

・

スラブの配筋

○ 図示

・

スラブの定着及び受け筋

○ 図示

・

片持スラブの配筋

○ 図示

・

片持スラブ先端に壁が付く場合の配筋

○ 図示

・

スラブ開口部補強

○ 図示

・

出隅及び入隅部の補強配筋

○ 図示

・

スラブの打継ぎ補強配筋等

○ 図示

・

段差のあるスラブの補強配筋

○ 図示

・

片持スラブ形階段の配筋

○ 図示

・

二辺固定スラブ型階段の配筋

○ 図示

・

梁貫通孔の配筋

○ 図示

・

梁貫通孔の補強形式

○ 図示

・

コンクリート縦壁との取合い

○ 図示

・

各部配筋参考図は標準仕様書の参考資料による。

○7 ガス圧接継手

圧接完了後の圧接部の試験

※ 超音波探傷試験

○ 引張試験

試験方法等

※ 標準仕様書5.4.10(f) (h) ①〜⑥による

8 機械式継手

適用箇所

※ 図示

・

H12建告第1463号に適合する性能

A級

・

種類

ねじ式鉄筋継手

充填方式

・無機ボルト方式

・有機ボルト方式

・端部ねじ加工継手

・セメント充填式継手

・

工法

※ 第三者機関の評定等を取得している工法

鉄筋相互のあき

※ 評定等の評価内容による

品質の確認

※ 評定等の評価内容による

検査

※ 評定等の評価内容による

施工完了後の継ぎ手部の試験

○ 外観試験

試験対象

※ 全数

試験項目

○ 評定等の評価内容による

試験方法

○ 評定等の評価内容による

・超音波測定試験

試験対象

・抜取り

ロット

・1組の作業班が1日に行った継ぎ手か所で最大200箇所程度とする

試験の箇所数

1ロットに対して () 箇所

・全数

試験項目

※ 挿入長さ

試験方法

※ JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さ超音波測定方法及び判定基準)による

不合格となった場合の措置

・

9 溶接継手

適用箇所

・図示

・

H12建告第1463号に適合する性能

A級

・

溶接継手の工法

・図示

・標準仕様書5.3.5(4)による

・評定書の評価内容による

・図示

鉄筋相互のあき

・標準仕様書5.3.5(4)による

・評定書の評価内容による

・図示

施工完了後の溶接部の試験

○ 外観試験

試験対象

※ 全数

試験項目

・評定等の評価内容による

試験方法

・評定等の評価内容による

・

・超音波測定試験

試験対象

・抜取り

ロット

・1組の作業班が1日に行った継ぎ手か所で最大200箇所程度とする

試験の箇所数

1ロットに対して () 箇所

・全数

試験項目

※ 内部欠陥の検出

試験方法

※ JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による

不合格となった場合の措置

・

6章 コンクリート工事

○1 レディミクストコンクリート製造工場

※ 品質管理監督検査合格工場(○適マ取得工場)

○2 コンクリート種類

コンクリートの種別

※ Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証したコンクリート)

・Ⅱ類(JIS A 5308に適合したコンクリート)

○3 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

(6.2.1~4) (6.3.2) (6.10.1~3)

普通コンクリート

設計基準強度 (N/mm2)	スラブ	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所
・24	・	2.3程度	
・21	・		
○27	○18, 15	2.3程度	地上部床・基礎・土間・デッキ

★印は構造体強度補正値(S)を適用しない

構造体強度補正値

※ 標準仕様書表6.3.2による

・

設計基準強度 (N/mm2)	スラブ	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所
・	※ 21		・1種	・2種
・				
・				

構造体強度補正値

※ 標準仕様書表6.3.2による

・

○4 セメント

種類

※ 普通セメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又はフライッシュセメントA種

普通セメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ、28日目で402J/g以下のものとする。

適用箇所：

・高炉セメントB種[G]

適用箇所：

・フライッシュセメントB種[G]

適用箇所：

・

○5 骨材

アルカリ反応性による区分

※ A

・B

○6 混和材料

○ 混和剤

種類

※ 標準仕様書6.3.1(4) (a)による

・

・混和材

種類

※ 標準仕様書6.3.1(4) (b)による

・

7 寒中コンクリート

適用期間

・図示

構造体強度補正値

・標準仕様書6.11.2(3) (7)による

・積算温度による

○8 暑中コンクリート

構造体強度補正値

※ 6N/mm2

9 マスコンクリート

適用箇所

※ 図示による

・

セメントの種類

・普通セメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又はフライッシュセメントA種

・高炉セメントB種[G]

・フライッシュセメントB種[G]

・シライトセメント

・

混和材料

・混和剤

種類

※ 標準仕様書6.13.2(2) (7)による

・

・混和材

種類

※ 標準仕様書6.13.2(2) (7)による

・

スラブ

※ 15cm

構造体強度補正値

※ 標準仕様書表6.13.11による

・

10 無筋コンクリート

コンクリートの種類

※ 普通コンクリート

・

セメントの種類

※ 普通セメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又はフライッシュセメントA種

・高炉セメントB種[G]

・フライッシュセメントB種[G]

設計基準強度

※ 18N/mm2

スラブ

※ 15cm又は18cm

適用箇所

※ 標準仕様書6.14.1(4) (7)〜(8)による

・

<p>11 流動化コンクリート (6.15.1)</p> <p>適用箇所 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/></p> <p>○ 12 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)</p> <p>打継ぎの位置 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書6.6.4(1)による <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>目地寸法 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書9.7.3(1)(7)による <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>○ 13 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>○ A種</td><td></td></tr> <tr><td>○ B種</td><td></td></tr> <tr><td>○ C種</td><td></td></tr> </table> <p>コンクリート仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>○ a種</td><td></td></tr> <tr><td>○ b種</td><td></td></tr> <tr><td>○ c種</td><td></td></tr> </table> <p>○ 14 打増し厚さ(打直し仕上げ部) (6.8.1)</p> <p>○ 打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</p> <p>○ 20mm <input type="checkbox"/></p> <p>・ 打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)</p> <p>・ 10mm <input type="checkbox"/> 20mm <input type="checkbox"/></p> <p>○ 15 型枠 (6.8.2)</p> <p>せき板の材料及び厚さ <input type="checkbox"/> 合板[G] <input type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 12mm <input type="checkbox"/></p> <p>・ 断熱材を兼用した型枠材</p> <p>使用箇所 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>・ MCR工法用シート</p> <p>適用箇所 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>打増し厚さ <input type="checkbox"/> 20mm <input type="checkbox"/></p> <p>打増し範囲 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/></p> <p>スラブの材種・規格等 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>○ 16 コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p> <p>実施要領 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>17 耐震スリット</p> <table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 垂直方向</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 完全(全貫通型)</td> <td>・ 耐火大型</td> <td>・ 防水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水平方向</td> <td><input type="checkbox"/> 非貫通型</td> <td>・ 非耐火大型</td> <td>・ 無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地(目地材の材質は標準仕様書9.7.1による)</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>シーリング材(見え掛かり部のみ)</td> <td>シーリング材(見え掛かり部のみ)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法(mm)</td> <td><input type="checkbox"/> 幅20×深さ10 <input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/> 幅20×深さ10 <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 18 止水板</p> <p>形式 <input type="checkbox"/> 差込式 <input type="checkbox"/> 据置式 <input type="checkbox"/> 壁張り式</p> <p>施工位置 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>7章 鉄骨工事 (7.1.3)</p> <p>○ 1 鉄骨の製作工場</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場</p> <p>()がレド1以上</p> <p>・ 監督職員の承諾する製作工場</p> <p>○ 2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 配置する <input type="checkbox"/> 配置しない</p> <p>○ 3 鋼材 (7.2.1)(7.2.10)</p> <p>種類の記号</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> </table> <p>・ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験(適用箇所:)</p> <p>○ 4 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)</p> <p>ボルトの種類 <input type="checkbox"/> トリプル高力ボルト <input type="checkbox"/> JIS高力ボルト</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>摩擦面の処理方法 <input type="checkbox"/> 標準仕様書7.4.2(1)による <input type="checkbox"/></p> <p>○ すべり試験の実施</p> <p><input type="checkbox"/> すべり係数試験 <input type="checkbox"/> すべり耐力試験</p> <p>すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1)(i)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>○ 5 普通ボルト (7.2.3)(7.3.2)(7.3.8)</p> <p>ボルト及びワッシャの材料</p> <p>○ 標準仕様書7.2.3(JIS付属書品)は又次による</p> <p>ボルトの規格は、JIS B 1180とする</p> <p>ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする</p> <p>ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルト径の値以下とする</p> <p>ワッシャの規格は、JIS B 1181とする</p> <p>ワッシャの種類は、六角ワッシャCとし、材料は鋼とする</p> <p>・</p> <p>座金 <input checked="" type="checkbox"/> JIS B 1256による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p>母屋又は副軸の取付けに使用するボルトの径 <input checked="" type="checkbox"/> ねじの呼び径+1.0mm <input type="checkbox"/></p> <p>○ 6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p>摩擦面の処理方法 <input type="checkbox"/> プラフ処理(表面粗度50μmRz以上)</p> <p>○ すべり試験の実施</p> <p><input type="checkbox"/> すべり係数試験 <input type="checkbox"/> すべり耐力試験</p> <p>すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(7)又は(i)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p>	種別	適用箇所	○ A種		○ B種		○ C種		種別	適用箇所	○ a種		○ b種		○ c種		方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・ 垂直方向	<input checked="" type="checkbox"/> 完全(全貫通型)	・ 耐火大型	・ 防水		・ 水平方向	<input type="checkbox"/> 非貫通型	・ 非耐火大型	・ 無し		目地	内壁	外壁	目地材	シーリング材(見え掛かり部のみ)	シーリング材(見え掛かり部のみ)	目地寸法(mm)	<input type="checkbox"/> 幅20×深さ10 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 幅20×深さ10 <input type="checkbox"/>	施工箇所	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>		種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる	<p>○ 7 アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)</p> <p>○ 構造用アンカーボルト</p> <p>種類 <input type="checkbox"/> ABR400 <input type="checkbox"/> ABR490</p> <p>○ 建方用アンカーボルト</p> <p>種類 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/></p> <p>アンカーボルト及びワッシャのねじの公差域及び仕上げの程度 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表7.2.3による</p> <p>標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト</p> <p>適用箇所 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>種類 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/></p> <p>アンカーボルト及びワッシャのねじの公差域及び仕上げの程度 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表7.2.3による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>○ 8 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>溶接材料 <input type="checkbox"/> 標準仕様書7.2.5(1)(2)による。</p> <p>○ 9 ターンバックル (7.2.6)</p> <p>種類</p> <p>建築用ターンバックルボルト <input checked="" type="checkbox"/> 羽子板ボルト <input type="checkbox"/></p> <p>建築用ターンバックル胴 <input checked="" type="checkbox"/> 割棒式 <input type="checkbox"/></p> <p>ねじの呼び <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>○ 10 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)</p> <p>材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>適用箇所</th> <th>材質、形状、寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ デッキプレート単独の構法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/></p> <p>鉄骨部材への溶接方法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/></p> <p>耐火認定 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し</p> <p>耐火時間 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/></p> <p>○ 11 スタッド (7.2.8)</p> <p>呼び名</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○ 13</td> <td>70</td> <td>鉄骨梁天端</td> </tr> <tr> <td>・ 19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 12 柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書7.2.9(2)(7)から(4)による</p> <p>○ 13 製作精度 (7.3.3)</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて、次による通しゲージの突合せ継手の食い違いの寸法 <input checked="" type="checkbox"/> II2建造第1464号第二号イ(2)による</p> <p>ゲージの寸法 <input checked="" type="checkbox"/> II2建造第1464号第二号イ(3)による</p> <p>食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法</p> <p>・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強要領」による</p> <p>・</p> <p>14 仮組 (7.3.10)</p> <p>仮組を行う範囲 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/></p> <p>○ 15 溶接作業における技能資格者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>溶接作業者の技量付加試験 <input checked="" type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う</p> <p>試験の要領 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>○ 16 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)</p> <p>開先の形状 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/></p> <p>鋼製スリットを切断する部分</p> <p>切断する箇所 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>○ 鋼製スリット、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部を7字形に加工する。</p> <p>・</p> <p>切断面の仕上げ</p> <p>スリットの形状 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>図形フランジの使用</p> <p>図形フランジを使用する場合はAW協定技術会議の実施する認定試験の合格者若しくは、日本コンクリート協会の実施する施工講習会受講者が施工すること。</p> <p>低応力高力鋼板をうける部位 </p>		適用箇所	材質、形状、寸法	備考	・ デッキプレート単独の構法				・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法				・				呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	○ 13	70	鉄骨梁天端	・ 19			・ 22		
種別	適用箇所																																																																																															
○ A種																																																																																																
○ B種																																																																																																
○ C種																																																																																																
種別	適用箇所																																																																																															
○ a種																																																																																																
○ b種																																																																																																
○ c種																																																																																																
方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																												
・ 垂直方向	<input checked="" type="checkbox"/> 完全(全貫通型)	・ 耐火大型	・ 防水																																																																																													
・ 水平方向	<input type="checkbox"/> 非貫通型	・ 非耐火大型	・ 無し																																																																																													
目地	内壁	外壁																																																																																														
目地材	シーリング材(見え掛かり部のみ)	シーリング材(見え掛かり部のみ)																																																																																														
目地寸法(mm)	<input type="checkbox"/> 幅20×深さ10 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 幅20×深さ10 <input type="checkbox"/>																																																																																														
施工箇所	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>																																																																																															
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																																																																														
		・ JISによる																																																																																														
		・ JISによる																																																																																														
		・ JISによる																																																																																														
		・ JISによる																																																																																														
		・ JISによる																																																																																														
		・ JISによる																																																																																														
		・ JISによる																																																																																														
	適用箇所	材質、形状、寸法	備考																																																																																													
・ デッキプレート単独の構法																																																																																																
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法																																																																																																
・																																																																																																
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																														
○ 13	70	鉄骨梁天端																																																																																														
・ 19																																																																																																
・ 22																																																																																																

JAS 0701以外の造作用単板積層材			8 防腐・防蟻処理			(12.3.1) (12.3.2)			工法 1章 適用区分による風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等※図示 瓦枚木の留付け工法※図示・のし積み棟・モルタル・瓦葺き用しゅくい			15章 左官工事			(15.3.2) (15.3.5)		
施工箇所寸法(mm)表面の品質含水率防虫処理間伐材等の適用			・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位：・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 保存処理性能区分			○ 4 とい			○ 配管用銅管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ ルーフレイン ○ 表面処理銅板			○ 1 モルタル塗り			○ 現場調査材料		
※14%以下			・適用する ・適用しない			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			表面及び裏面の塗膜の種類○アルミ亜鉛合金メッキ 標準仕様書13.5.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)			既製目地材			・既調査材料(※)		
※14%以下			・適用する ・適用しない			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			形状○市販品(とい径100以下) ・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			○ 設ける			施工箇所：形状※図示		
県産木材の適用			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			取付間隔○標準仕様書13.5.2による			床目地			○ 設けない		
・JAS 3079に基づく直交集成板[G]			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			多雪地域・適用する			○ 設ける			種類※押し目地		
施工箇所品名強度等級種別接着性能(使用環境)樹種名寸法(mm)間伐材等の適用			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			防露材の※放散量			目地割			※2m2程度(最大目地間隔3m程度)		
・有・無			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			銅管製といの防露巻き			○ 設けない			屋外タレ張り下地、屋内の吹付け部分等のタレ張り下地のタレ塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験		
・有・無			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			ルーフレインの材種その他			○ 設ける			・適用する		
○ 5 合板等			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			種類呼び			○ 設ける			品質・性能、試験方法は別表による		
○「合板の日本農林規格」による普通合板[G]			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			○ろく屋根用たて形1型			○ 設ける			2 ラス系下地		
施工箇所厚さ(mm)単板の樹種名接着の程度板面の品質防虫処理間伐材等の適用			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			○ろく屋根用横形1型			○ 設ける			タス系下地		
建具壁○5.5シナラワン※1類・2類			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			○ベムコニ中継用			○ 設ける			・二層下地通気構法		
・有・無			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			○ろく屋根用横形1型			○ 設ける			・単層下地通気構法		
県産木材の適用			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			○ベムコニ中継用			○ 設ける			換気口部の防水処理		
○「合板の日本農林規格」による構造用合板[G]			・適用する			・ 25x4.5 (とい径100を超えるもの)			○ろく屋根用横形1型			○ 設ける			※公共建築木造工事標準仕様書11.4.3(2)(?)		

2

メタルテンウォール

(17.3.2) (17.2.3) (17.2.4) (17.2.6)

金属系材料の種類

・ 76mm材

・ 鋼材

・ ステンレス鋼材

シーリング材の種類(目地等)

種類及び寸法等

※ 図示

ガラスの取付け材料

・ シーリング*

・ SR-1

・ SR-1

・ 構造用* スカット

形状・寸法等

※ 図示

断熱材[G]

種類及び範囲

※ 図示

形状及び仕上げ

製品の寸法許容差

※ 標準仕様書表17.2.1による

見え掛かり部の仕上げ

(76mm材の場合)

規格等

標準仕様書16.2.3による

種別

・

(標準仕様書14.2.1)

着色

・ 標準色

・ 特注色

(鋼材及びステンレス鋼材の場合)

・

ガラス溝の寸法、形状

※ テンウォールの製造時の仕様

・

取付け

躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差

鉛直方向

※ ±10mm

・

水平方向

※ ±25mm

・

テンウォール部材の取付け位置の寸法許容差

目地の幅

※ ±3mm

・

目地の心の通り

※ 0～2mm

・

目地の両面の段差

※ 0～2mm

・

各階の基準墨から各部材までの距離

※ ±3mm

・

耐火処理

適用部位、材料等

※ 図示

ガラスの取付け材料

ガラスの取付け材料がシーリング* の場合のガラスの支持方法

※ 4辺支持

3

PCカーテンウォール

(17.3.2)～(17.3.5) (表17.3.1) (表17.3.2)

材料

コンクリート

種類

・ 普通コンクリート

・ 軽量コンクリート種

・

品質

設計基準強度 f_c

※ 30N/mm2

・

スラブ

※ 12cm

気乾単位容積質量

・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下

・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3

・

単位水量の最大値

※ 185kg/m2

・

鉄筋

種類の記号

※ SD295A

補強鉄線

径 (mm)

・ 3.2

・ 4.0

・ 5.0

・ 6.0

綱目寸法

シーリング材の種類(目地等)

種類及び寸法等

※ 図示

ガラスの取付け材料

・ 構造* スカット

形状・寸法等

・ 図示

耐火処理

適用部位、材料等

※ 図示

断熱材[G]

種類

・

先付けの材料

・ 表面仕上材

・ セミタイトル

・ 石材

・ 建具枠

・ ゴンドラ用* インドール

形状及び仕上げ

製品の見え掛かり部の寸法許容差

辺長

※ ±3mm

対角線長の差

※ 0～5mm

板厚

※ ±2mm

開口部内法寸法

※ ±2mm

ねじれ、反り

※ 0～5mm

曲がり

※ 0～3mm

面の凹凸

※ 0～3mm

先付け金物の位置

※ 0～5mm

PCカーテンウォールの仕上げ

・

構造* スカットを用いる場合のアンカ溝の寸法及び寸法許容差(mm)

※ 図示

製作

PC版の配筋

※ 図示

取付け

躯体付け金物の取付けの寸法許容差

鉛直方向

※ ±10mm

水平方向

※ ±25mm

テンウォール部材の取付け位置の寸法許容差

目地の幅

※ 5mm

目地の心の通り

※ 0～3mm

目地両側の段差

※ 0～4mm

各階の基準墨から各部位までの距離

※ ±5mm

ガラスの取付け方法

・ ガラスの取付け材が構造用* スカットで複層* ガラスを使用する場合は排水機構の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

焼津市 総務部 公有財産課 公共施設保全室	株式会社水野建築事務所
--------------------------	-------------

○ 2 素地ごしえ		(18. 2. 2)～(18. 2. 7)		
下地面等		種別		
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種	・ B種	
	透明塗料塗りの場合	※ B種	・ A種	
鉄鋼面	DP	※ B種	・ A種	・ C種
	DP以外	※ C種	・ A種	・ B種
亜鉛めっき鋼面		・ A種	○ B種	
モルタル面及びせつこうラスター面		※ B種	・ A種	
コンクリート面 (DP以外) 及びALC ^ハ 材面		※ B種	・ A種	
押出成形セメント板面		※ B種	・ A種	
コンクリート面 (DP面)		・ B種	※ A種	
せつこう ^ド 面及び	目地：継目処理工法	※ A種	・ B種	
その他 ^ド 類	目地：継目処理工法以外	※ B種	・ A種	

○ 3 錆止め塗料塗り				(18. 3. 2) (18. 3. 3)
下地面等	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程	
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛かり	A種
	DP	C種及びD種	見え隠れ	B種
	EP-G	※B種	見え掛かり	A種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種	見え隠れ	B種
			鋼製建具等	A種
			上記以外	B種
	DP	B種	標準仕様書表18. 3. 6	
	EP-G	C種及びD種	鋼製建具等	A種
			上記以外	B種

4 塗装		(18.4.) 1～(18.12.) 2		
	塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料[G]
○ 合成樹脂配合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ A種 ・ B種	—	—
	木部屋内	※ B種 ・ A種	—	—
	鉄鋼面	※ B種 ・ A種	—	・ 適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	—	・ 適用する
○ 珪酸塩塗り (CL)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種	—	—
	・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗 (NAD)	※ B種	—	—
○ 耐酸性交料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗塗料の等級	・ 適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗塗料の等級	・ 適用する
○ 常温亜鉛めっき塗り ○ つや合成樹脂 スチレンペイント塗り (EP-G)	コナリ面及び押出成形ペイント板面	・ A種 ・ C種	—	—
	コナリ面	※ B種 ・ A種	—	—
	せめり面	—	—	—
	ガラス面	—	—	—
	せっこうざい面	—	—	—
	その他のざい面等	—	—	—
	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・ A種	—	—
	鉄鋼面	—	—	—
	亜鉛めっき面	—	—	—
	○ 合成樹脂スチレンペイント塗り (EP)	※ B種 ・ A種	—	—
○ ルル樹脂ワス塗り (LC)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種	—	—
	○ ステン塗り	・ ビンタステン塗り ○ オクステン塗り (OS)	—	—
○ 木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種	—	—

高日射反射率塗装[G]を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。

珪酸塩A種の工程2の適用

○ 適用しない
○ 適用する

溶剤系着色剤
油性染色着色剤

ルル樹脂ワス塗の工程1の着色の適用

○ 適用する

○ 防塵用塗料塗り

材質

水性アクリル系樹脂塗料

標準色

仕上種別

コナリ (ロー刷毛塗り)

塗布量

主剤2回塗と、総塗布量は0.25kg/m2以上とする。

金属製屋根面に塗装する場合の塗料はJIS K 5675に適合する資材とする。種別、工程及び塗付量は図示による。

19章 内装工事

○1 接着剤

ビニルシート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のぬり方⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㏀㏁㏂㏃㏄㏅㏆㏇㏈㏉㏊㏋㏌㏍㏎㏏㏐㏑㏒㏓㏔㏕㏖㏗㏘㏙㏚㏛㏜㏝㏞㏟㏠㏡㏢㏣㏤㏥㏦㏧㏨㏩㏪㏫㏬㏭㏮㏯㏰㏱㏲㏳㏴㏵㏶㏷㏸㏹㏺㏻㏼㏽㏾㏿㐀㐁㐂㐃㐄㐅㐆㐇㐈㐉㐊㐋㐌㐍㐎㐏㐐㐑㐒㐓㐔㐕㐖㐗㐘㐙㐚㐛㐜㐝㐞㐟㐠㐡㐢㐣㐤㐥㐦㐧㐨㐩㐪㐫㐬㐭㐮㐯㐰㐱㐲㐳㐴㐵㐶㐷㐸㐹㐺㐻㐼㐽㐾㐿㑀㑁㑂㑃㑄㑅㑆㑇㑈㑉㑊㑋㑌㑍㑎㑏㑐㑑㑒㑓㑔㑕㑖㑗㑘㑙㑚㑛㑜㑝㑞㑟㑠㑡㑢㑣㑤㑥㑦㑧㑨㑩㑪㑫㑬㑭㑮㑯㑰㑱㑲㑳㑴㑵㑶㑷㑸㑹㑺㑻㑼㑽㑾㑿㒀㒁㒂㒃㒄㒅㒆㒇㒈㒉㒊㒋㒌㒍㒎㒏㒐㒑㒒㒓㒔㒕㒖㒗㒘㒙㒚㒛㒜㒝㒞㒟㒠㒡㒢㒣㒤㒥㒦㒧㒨㒩㒪㒫㒬㒭㒮㒯㒰㒱㒲㒳㒴㒵㒶㒷㒸㒹㒺㒻㒼㒽㒾㒿㓀㓁㓂㓃㓄㓅㓆㓇㓈㓉㓊㓋㓌㓍㓎㓏㓐㓑㓒㓓㓔㓕㓖㓗㓘㓙㓚㓛㓜㓝㓞㓟㓠㓡㓢㓣㓤㓥㓦㓧㓨㓩㓪㓫㓬㓭㓮㓯㓰㓱㓲㓳㓴㓵㓶㓷㓸㓹㓺㓻㓼㓽㓾㓿㔀㔁㔂㔃㔄㔅㔆㔇㔈㔉㔊㔋㔌㔍㔎㔏㔐㔑㔒㔓㔔㔕㔖㔗㔘㔙㔚㔛㔜㔝㔞㔟㔠㔡㔢㔣㔤㔥㔦㔧㔨㔩㔪㔫㔬㔭㔮㔯㔰㔱㔲㔳㔴㔵㔶㔷㔸㔹㔺㔻㔼㔽㔾㔿㕀㕁㕂㕃㕄㕅㕆㕇㕈㕉㕊㕋㕌㕍㕎㕏㕐㕑㕒㕓㕔㕕㕖㕗㕘㕙㕚㕛㕜㕝㕞㕟㕠㕡㕢㕣㕤㕥㕦㕧㕨㕩㕪㕫㕬㕭㕮㕯㕰㕱㕲㕳㕴㕵㕶㕷㕸㕹㕺㕻㕼㕽㕾㕿㖀㖁㖂㖃㖄㖅㖆㖇㖈㖉㖊㖋㖌㖍㖎㖏㖐㖑㖒㖓㖔㖕㖖㖗㖘㖙㖚㖛㖜㖝㖞㖟㖠㖡㖢㖣㖤㖥㖦㖧㖨㖩㖪㖫㖬㖭㖮㖯㖰㖱㖲㖳㖴㖵㖶㖷㖸㖹㖺㖻㖼㖽㖾㖿㗀㗁㗂㗃㗄㗅㗆㗇㗈㗉㗊㗋㗌㗍㗎㗏㗐㗑㗒㗓㗔㗕㗖㗗㗘㗙㗚㗛㗜㗝㗞㗟㗠㗡㗢㗣㗤㗥㗦㗧㗨㗩㗪㗫㗬㗭㗮㗯㗰㗱㗲㗳㗴㗵㗶㗷㗸㗹㗺㗻㗼㗽㗾㗿㘀㘁㘂㘃㘄㘅㘆㘇㘈㘉㘊㘋㘌㘍㘎㘏㘐㘑㘒㘓㘔㘕㘖㘗㘘㘙㘚㘛㘜㘝㘞㘟㘠㘡㘢㘣㘤㘥㘦㘧㘨㘩㘪㘫㘬㘭㘮㘯㘰㘱㘲㘳㘴㘵㘶㘷㘸㘹㘺㘻㘼㘽㘾㘿㙀㙁㙂㙃㙄㙅㙆㙇㙈㙉㙊㙋㙌㙍㙎㙏㙐㙑㙒㙓㙔㙕㙖㙗㙘㙙㙚㙛㙜㙝㙞㙟㙠㙡㙢㙣㙤㙥㙦㙧㙨㙩㙪㙫㙬㙭㙮㙯㙰㙱㙲㙳㙴㙵㙶㙷㙸㙹㙺㙻㙼㙽㙾㙿㚀㚁㚂㚃㚄㚅㚆㚇㚈㚉㚊㚋㚌㚍㚎㚏㚐㚑㚒㚓㚔㚕㚖㚗㚘㚙㚚㚛㚜㚝㚞㚟㚠㚡㚢㚣㚤㚥㚦㚧㚨㚩㚪㚫㚬㚭㚮㚯㚰㚱㚲㚳㚴㚵㚶㚷㚸㚹㚺㚻㚼㚽㚾㚿㜀㜁㜂㜃㜄㜅㜆㜇㜈㜉㜊㜋㜌㜍㜎㜏㜐㜑㜒㜓㜔㜕㜖㜗㜘㜙㜚㜛㜜㜝㜞㜟㜠㜡㜢㜣㜤㜥㜦㜧㜨㜩㜪㜫㜬㜭㜮㜯㜰㜱㜲㜳㜴㜵㜶㜷㜸㜹㜺㜻㜼㜽㜾㜿㝀㝁㝂㝃㝄㝅㝆㝇㝈㝉㝊㝋㝌㝍㝎㝏㝐㝑㝒㝓㝔㝕㝖㝗㝘㝙㝚㝛㝜㝝㝞㝟㝠㝡㝢㝣㝤㝥㝦㝧㝨㝩㝪㝫㝬㝭㝮㝯㝰㝱㝲㝳㝴㝵㝶㝷㝸㝹㝺㝻㝼㝽㝾㝿㞀㞁㞂㞃㞄㞅㞆㞇㞈㞉㞊㞋㞌㞍㞎㞏㞐㞑㞒㞓㞔㞕㞖㞗㞘㞙㞚㞛㞜㞝㞞㞟㞠㞡㞢㞣㞤㞥㞦㞧㞨㞩㞪㞫㞬㞭㞮㞯㞰㞱㞲㞳㞴㞵㞶㞷㞸㞹㞺㞻㞼㞽㞾㞿㟀㟁㟂㟃㟄㟅㟆㟇㟈㟉㟊㟋㟌㟍㟎㟏㟐㟑㟒㟓㟔㟕㟖㟗㟘㟙㟚㟛㟜㟝㟞㟟㟠㟡㟢㟣㟤㟥㟦㟧㟨㟩㟪㟫㟬㟭㟮㟯㟰㟱㟲㟳㟴㟵㟶㟷㟸㟹㟺㟻㟼㟽㟾㟿㠀㠁㠂㠃㠄㠅㠆㠇㠈㠉㠊㠋㠌㠍㠎㠏㠐㠑㠒㠓㠔㠕㠖㠗㠘㠙㠚㠛㠜㠝㠞㠟㠠㠡㠢㠣㠤㠥㠦㠧㠨㠩㠪㠫㠬㠭㠮㠯㠰㠱㠲㠳㠴㠵㠶㠷㠸㠹㠺㠻㠼㠽㠾㠿㡀㡁㡂㡃㡄㡅㡆㡇㡈㡉㡊㡋㡌㡍㡎㡏㡐㡑㡒㡓㡔㡕㡖㡗㡘㡙㡚㡛㡜㡝㡞㡟㡠㡡㡢㡣㡤㡥㡦㡧㡨㡩㡪㡫㡬㡭㡮㡯㡰㡱㡲㡳㡴㡵㡶㡷㡸㡹㡺㡻㡼㡽㡾㡿㢀㢁㢂㢃㢄㢅㢆㢇㢈㢉㢊㢋㢌㢍㢎㢏㢐㢑㢒㢓㢔㢕㢖㢗㢘㢙㢚㢛㢜㢝㢞㢟㢠㢡㢢㢣㢤㢥㢦㢧㢨㢩㢪㢫㢬㢭㢮㢯㢰㢱㢲㢳㢴㢵㢶㢷㢸㢹㢺㢻㢼㢽㢾㢿㣀㣁㣂㣃㣄㣅㣆㣇㣈㣉㣊㣋㣌㣍㣎㣏㣐㣑㣒㣓㣔㣕㣖㣗㣘㣙㣚㣛㣜㣝㣞㣟㣠㣡㣢㣣㣤㣥㣦㣧㣨㣩㣪㣫㣬㣭㣮㣯㣰㣱㣲㣳㣴㣵㣶㣷㣸㣹㣺㣻㣼㣽㣾㣿㤀㤁㤂㤃㤄㤅㤆㤇㤈㤉㤊㤋㤌㤍㤎㤏㤐㤑㤒㤓㤔㤕㤖㤗㤘㤙㤚㤛㤜㤝

○ 2 下地の工法 (19. 2. 3)

標準仕様書 19. 2. 3 (1) (7) ~ (9) 以外の下地の工法 ○ 図示

○ 3 ニル床シート [G]				(19. 2. 2) (19. 2. 3)
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	
※ FS (複層) ニル床シート)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無地 ○ マーブル柄 ○ 柄物 	※ 2.0		
接合部の処理		※ 熱溶接工法		

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・ TT (単層ビニール床タイル)	・ 無地	・ 300×300	※ 2.0	
・ PT (複層ビニール床タイル)	・ 柄物	・ 450×500	・ 2.5	
※ KT (コブ・ジョビニール床タイル)		・ 500×500	・ 3.0	
・ FOA (置き式ビニール床タイル)				
・ FOB (薄型置き敷きビニール床タイル)				

5 特殊機能床

- ・ 帯電防止床シート
 - 種類 :
 - 性能 :
 - 厚さ (mm) :
- ・ 帯電防止床タイル
 - 種類 :
 - 性能 :
 - 寸法 :
 - 厚さ (mm) :
- ・ 視覚障害者用床タイル
 - 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
 - 種類 :
 - 形状 :
- ・ 耐動荷重性床シート
 - 種類 :
 - 厚さ (mm) :
- ・ 防滑性床シート
 - 種類 :
 - 厚さ (mm) :
- ・ 防滑性床タイル
 - 種類 :
 - 寸法 :
 - 厚さ (mm) :

6 ビニル幅木 (19.2.2)

種類	・ 硬質	○ 軟質
高さ(mm)	※ 60	・ 75
厚さ(mm)	※ 1.5以上	・ 100

7 ゴム床タイル (19.2.2)

種類	・ 単層品	・ 積層品		
色柄	・			
厚さ(mm)	・ 3.0	・ 4.5	・ 6.0	・ 9.0
寸法(mm)	・			

⑧	カーペット敷き	(19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)
・	織じゅうたん	
	織り方	バ イ 形 状
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェットカーペット ・ グラフウェットカーペット ・ マシナシカーペット 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つトバ バイ ・ 6つトバ バイ ・ 3つト、6つト 併用
色柄	※ 模様の無い無地	
バ イ 糸 糸 の 種 類 等	※ 無地の織りじゅうたんの種類	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 ・ C種 	
帯電性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する ・ 適用しない 	
織りじゅうたんの検査方法	※ ヒューズド工法	・ つづり縫い
下敷き材	※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号	呼び厚さ 8mm

ハ 形状	ハ 長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・ カットハ 形	・ 5~7	・ 全面接着工法	・ 適用する	
・ ルーバハ 形	・ 4~6	・ グラフハ 工法	・ 適用しない	
・ カット、ルーバ 併用	・			

下敷き材 (グラフハ 工法の場合) **※** 反毛フタ (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

77777・88888 ッ用接着剤の88888に付放数量					
※☆☆☆☆☆					
ハネの形状 ○ パレタヘット	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ ルーパ ハイル	※ 第一種		※ 500×500	※ 6	
	※ 第二種		*	* *	
※ カットバ イル	※ 第一種		※ 500×500	※ *	
	※ 第二種		*	* *	
※ カット、ルーパ 併用	※ 第一種		※ 500×500	※ *	
	※ 第二種		*	* *	

平場  市松敷き  模縁流し
 階段部分  模縁流し  市松敷き
 見切り・押え金物
 材質 :
 種類 :
 形状等  図示

○ アンダーレイ敷込
 ・

9 合成樹脂塗床		(19.4.2) (19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)		
種別	施工箇所	工法	仕上りの種類	
・ 厚膜型塗床材 弾性軟質樹脂系塗床			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	
・ 厚膜型塗床材 ざら樹脂系塗床			・ 薄膜流し展べ工法 ・ 厚膜流し展べ工法 ・ 樹脂めり目工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
・ 薄膜型塗床材				※ 平滑仕上げ
塗床材のめり目・ひき散量		※☆☆☆☆		

○ 10 フローリング張り (19.5.2)～(19.5.6) (表19.5.1)～(表19.5.6)

フローリングの「おんけんてい」の放散量等 ※ 標準仕様書19.5.2(2)による
 各工法に使用する接着剤の「おんけんてい」の放散量 ※ F☆☆☆☆

・ 単層フローリング (フローリング ボード 1 等)

工法 ・ 釘留め工法
 ・ 根太張り
 ・ 接着工法
 ・ 直張り

樹種 ※ なら ・

間伐材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない

単層フローリング (フローリング) プラック 1 等

樹種 ※ なら ひのき

厚さ

大きさ

間伐材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない

○ 複合フローリング

工法 ○ 釘留め工法
 ・ 根太張り ○ 直張り
 ○ 接着工法
 ・

樹種 ※ なら ・

種別 ○ A種 ・ B種 ・ C種

間伐材の適用 ・ 適用する ○ 適用しない

接着工法の場合の裏面緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・

○ 11 量数き (19.6.2) (表19.6.1)

種別	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種(畳床KT-)	・ I	・ II	・ K	・ N
下地の種類	・ 標準仕様書表12.6.1による床組み	・ ばりスチフォーム床下地(ノンフ[G])						

○ 図示

・ 衝撃緩和型畳 畳表 (JIS A 5902) ・ C1 ・ C2

畳表及び畳床はおかみ76°、7°、76°、7°及びびんを発生しないか、発生がきわめて少ない材料を使用したものとする。

12 セットボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2) (19.7.3) (表19.7.1)

種類等		厚さ(mm)、規格等					
木質系セメント板[G]							
・ 木毛セメント板 ・ 硬質(HW) ・ 中質(MW) ・ 普通(NW)		※ 図示	・ 15	・ 20	・ 25		
・ 木片セメント板 ・ 硬質(HF) ・ 普通(NF)		※ 図示	・ 12	・ 15	・ 18	・ 21	・ 30
繊維強化セメント板							
○ 繊維強化セメント板(タイプ2) 普通ボード0.8FK		※ 図示	○ 6	・ 8			
火山性ガラス質複層板							
・ 火山性ガラス質複層板 種類 ※ 図示		※ 図示					
繊維板[G]							
・ シンデライト(ファイバーボード) (MDF)		※ 図示	・ 3	・ 7	・ 9	・ 12	
・ ハードボード ・ スラングボード(無処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板(RN) ・ 研磨板(RS) ・ 内装用化粧ボード(DI)		※ 図示	・ 2.5	・ 3.5	・ 5	・ 7	
・ テンハートボード(処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板(RN) ・ 研磨板(RS) ・ 外装用化粧ボード(DE)							
・ インシュレーションボード ・ A級インシュレーションボード(A-IB) ・ 天井仕上材 ・ 内装仕上材		※ 図示	・ 9	・ 12	・ 15	・ 18	
ハートボード[G]							
・ 単板張りハートボード ・ 無研磨板(VN) ・ 研磨板(VS)		※ 図示	・ 10	・ 12	・ 15	・ 18	○ 20
・ 化粧ハートボード ・ 単板ハートボード(DV) ・ プラスチックハートボード(DO) ・ 塗装(DC)		※ 図示	・ 10(難燃)	・ 12(難燃)			
吸音材料							
・ ロックウール化粧吸音板(DR) ・ フォトタイ ・ 凹凸タイ			・ 9(不燃) ・ 15(不燃)	・ 12(不燃) ・ 18(不燃)			
・ ロックウール吸音ボード(1号) ・ グラスウール吸音ボード(32K)		※ 図示	・ 25				
せつこうボード							
○ せつこうボード(GB-R)		※ 12.5(不燃)	○ 15(不燃)				
○ シンデライトせつこうボード(GB-S)		○ 12.5	・ ○ 不燃	・ 準不燃			
○ 強化石膏ボード(GB-F)		○ 12.5(不燃)	○ 15(不燃)	○ 21(不燃)			
・ 化粧せつこうボード(GB-D)			・ 木目 12.5(不燃) 幅440mm程度 模様 ・ 板目 専用下地材有り ・ トレーチ模様 9.5(準不燃)				
・ せつこうボード(GB-L)			・ 9.5				
・ 不燃積層せつこうボード(GB-NC) ・ 化粧無し(下地張り用) ・ 化粧有り(トレーチ模様)			・ 9.5(不燃)				
合板類							
○ 普通合板[G] 裏面の樹種名 : 板面品質 : 防虫処理 : 行う ・ 行わない		※ 図示	・				
・ 天然木化粧合板[G] 裏面の樹種名 : 防虫処理 : 行う ・ 行わない		※ 図示	・				
・ 特殊加工化粧合板[G] 化粧加工の方法 ・ オールレイ ・ アント ・ 塗装 表面性能 : 防虫処理 : 行う ・ 行わない		※ 図示	・				

合板類の張り付け	○A種	○B種	○C種	○D種
せっこうボードの目地工法等	○A種	○B種	○C種	○D種
突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類	○A種	○B種	○C種	○D種
天井又は壁に使用するときの板は、関係法令により求められる場合のみ、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。	○A種	○B種	○C種	○D種

コンクリート面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種
せっこうボード[®]面、けい酸カルシウム板面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種

○ 14 断熱材[6] (19.9.2)～(19.9.4)

開口部等補修のための張付け用の接着剤の※A7種^①の放散量

※F☆☆☆☆

・断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
○ ・ビーズ法 ^② のスタイロフォーム断熱材	・	
○ 押出法 ^③ のスタイロフォーム断熱材（スチン層なし）	・	○ 50mm 100mm
○ 2種B A ○ 3種B A ○ 3種B C	・ 3種B C ○ 1種B C	
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
○ フェノールフォーム断熱材	・	
○ 断熱材現場発泡工法		
断熱材の種類	※A種1	・ A種1H
吹付け厚さ(mm)	○ 30mm	
施工箇所	○ 図示	
(品質、性能、試験方法は別表による)		

建設工事名

令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事(建築工事)(債務負担行為)

建築工事特仕仕様書(R05.12)	7 / 9	図番 A-09
-------------------	-------	------------

2

路盤

(22. 3. 2) (22. 3. 3) (表22. 3. 1)

路盤の厚さ

・ 図示

路盤材料 (標準仕様書表22. 3. 1による種別)

・ クラッシュ

・ 粒度調整砕石

・ 再生クラッシュ [G]

・ 再生粒度調整砕石 [G]

・ クラッシュ鉄鋼スラグ [G]

・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]

・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]

3

アスファルト舗装

(22. 4. 2) ～ (22. 4. 6) (表22. 4. 4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ

※ 図示

材料

アスファルト

・ 再生アスファルト [G]

標準仕様書表22. 4. 1による種類

・ 60～80

・ 80～100

ストリートアスファルト

骨材

・ 道路用砕石

・ アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

加熱アスファルト混合物等の種類

・ 密粒度アスファルト混合物 (13)

・ 細粒度アスファルト混合物 (13)

・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)

舗装の平たん性

※ 通行の支障となる水溜まりを生じない程度

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

・ 行う

・ 行わない

4

コンクリート舗装

(22. 5. 2) ～ (22. 5. 4) (22. 5. 6) (表22. 5. 1) (表22. 5. 3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・ 図示	・ 図示
	歩行者用通路	・ 図示	※ 150

材料

コンクリート

※ 普通コンクリート、標準仕様書表22. 5. 11による

・ 以下による

コンクリートの種類

・ 設計基準強度 (N/mm2)

・ 所定のスラグ (cm)

※ 8

粗骨材の最大寸法 (mm)

・ 使用する

・ 使用しない

早強型 60秒硬化型

・ 使用する

・ 使用しない

注入目地材料

※ 低弾性タイプ

・ 高弾性タイプ

目地

※ 標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 11による

・ 図示

・ 以下による

種類

・ 間隔

・ 構造

・ m以内毎

・ 図示

舗装の平たん性

※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

5

カラー舗装

(22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4)

カラー舗装

・ 加熱系カラー舗装

構成・厚さ

・ 図示

加熱系混合物の結合材

・ アスファルト混合物

・ 石油樹脂系混合物

顔料添加量 (%)

添加剤

着色骨材

・ 自然石

常温系カラー舗装

工法

・ 乾式工法

・ 配合その他

・ 塗布工法

配合その他

着色部の下部

・ アスファルト舗装

・ コンクリート舗装

舗装の平たん性

※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

6

透水性アスファルト舗装

(22. 7. 2) (22. 7. 3) (22. 7. 6)

舗装の構成

・ 図示

材料

骨材

・ 道路用砕石

・ アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

標準仕様書表22. 4. 11による種類

・ 60～80

・ 80～100

舗装の平坦性

※ 著しい不陸がないもの

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・ 行う

・ 行わない

7

ブロック系舗装

(22. 8. 2) (22. 8. 3)

コンクリート平板舗装 [G]

種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考
・ 普通平板 (N)	・ 300角	※ 60	※ 砂	表面加工
・ 透水平板 (P)	・		・ 多孔質	・ 研ぎ出し
・ 保水性平板 (M)				・ 洗い出し

クラッシュ材

※ 砂

・ 空練り多孔質

普通平板は [G] (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は [G] (透水性コンクリート) とする。

仕上り面の平たん性

※ 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内

インターロッキングブロック舗装 [G]

種類	部位	形状・寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm2)	備考
・ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示	※ 80	※ 5. 0	表面加工
・ 透水性ブロック (P)		・	・	・	・
・ 保水性ブロック (M)		・	・	・	・
・ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	・ 図示	※ 60	※ 3. 0	表面加工
・ 透水性ブロック (P)		・	・	・	・
・ 保水性ブロック (M)		・	・	・	・

クラッシュ材

※ 砂

・ 空練り多孔質

歩行者用通路に使用する普通ブロックは [G] (再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは [G] (透水性コンクリート) とする。

仕上り面の平たん性

※ 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内

・ 舗石舗装

種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	貼り方	基層	基層の厚さ (mm)
※ 小舗石 (花こう岩)	・ 割石	・ 80	・ うろこ張り	・ コンクリート舗装	※ 70
・	・ 図示	・	・	・ アスファルト舗装	※ 50

クラッシュ材

※ 砂

・ 空練り多孔質

仕上り面の平たん性

※ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内

単位面積質量

・ 60g/m2以上

・

厚さ (mm)

・ 0. 5～1. 0

・

引張強度

・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

・

透水係数

・ 1. 5×10⁻³ cm/sec以上

・

8

砂利敷き

(22. 9. 2)

砂利敷き

種別

・ A種 (施工範囲

・ 図示

・ 通路

・

)

・ B種 (施工範囲

・ 図示

・ 建物周囲その他

・

)

9

路面表示用塗料

路面表示用塗料はJIS K 5665による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
※ 3種1号	溶融	粉体状	・ 白	・ 150	・ 1. 0
・ 1種 [G]	常温	液状	・	・ 100	・
・ 2種 [G]	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 [G]

23章

植栽及び屋上緑化工事

(23. 1. 3)

1

植栽地の確認等

(23. 1. 3)

土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験

・ 行う

・ 行わない

水溶性塩類 (EC) の試験

・ 行う

・ 行わない

2

植栽基盤の整備

(23. 2. 2) (23. 2. 4)

樹木の植栽基盤の整備

・ 適用する

・ 適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	
※ 樹木	・ A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する	
	・ B種	※ 100	・ 120	・ 150	・ 植栽部分
	・ C種	樹高7m以上～12m未満	・ 図示	・	
	・ D種	※ 80	・ 100		
		樹高3m以上～7m未満			
		※ 60	・ 80		
		樹高3m未満	※ 50	・ 60	

植栽基盤の排水設備

・ 設ける

※ 図示

・ 設けない

3

植込み用土

(23. 2. 3)

現場発生土の良質土

・ 客土

4

土壌改良材

(23. 2. 3)

種類及び指定量等

・ バーク堆肥 [G]

施工箇所

※ 植栽範囲

・ 図示

使用量 (植栽基盤面積1m2あたり)

・ 50L

・

・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)

施工箇所

※ 植栽範囲

・ 図示

使用量 (植栽基盤面積1m2あたり)

・ 10L

・

材料

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする

・

5

樹木

(23. 3. 2)

樹種、寸法、株立数等

※ 図示

6

支柱

(23. 3. 2) (23. 3. 3)

支柱材

・ 丸太 (間伐材) [G]

・ 真竹

・

防腐処理方法

・ 加圧式防腐処理丸太材

・

形式

・ 図示

7

幹巻き用材料

(23. 3. 2)

材料

※ 幹巻き用テープ

・ わら及びこも

8

芝

(23. 4. 2) (23. 4. 3)

種類

※ コライシバ

・ ノシバ

・

芝張りの工法

平地

※ 目地張り

・ べた張り

・

法面

・ 目地張り

※ べた張り法面

9

吹付け種

(23. 4. 2)

種子の種類

・

・

・

発芽率

※ 発芽率80%以上

・

種子の量 (g/m2)

・

・

・

備考

・

・

・

10

地被類

(23. 4. 2)

樹種

・

・

・

コナテ径

・

・

・

単位面積当たりのコナテ数

・

・

・

芽立数

・

・

・

11

新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処理

(23. 3. 4) (23. 3. 6) (23. 4. 7)

新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間

※ 引渡しの日から1年

・ 無し

移植樹木の枯損処理を行う期間

※ 引渡しの日から1年

・ 無し

焼津市 総務部 公有財産課
公共施設保全室

株式会社水野建築事務所

管理建築士 水野芳康
一級建築士登録 第360853号

換図

作図

日付

2024/3/21

建設工事名

令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事 (建築工事) (債務負担行為)

図番

9 / 9

A-11

8 木栓及び木だぼ		<6.2.4><6.5.14>	
木栓及び木だぼ			
種類		樹種名	
・ 木栓			
・ 木だぼ			
・			
○ 9 接着剤		<6.2.4>	
・ 床鳴り防止用接着剤			
床根太用接着剤JIS A 5550に基づく接着剤の種類		・ 図示	
・ 接着剤による接合			
接着剤の種類		・ 図示	
○ 接着剤を併用した接合			
接着剤の種類		・ AHC（ホームコネクター）	
10 原寸図		<6.4.2>	
床書き原寸図を作成する			
○ 11 孔あけ加工		<6.4.5>	
♂け孔の径に加える木部の♂け孔の大きさ		※ 木造標準仕様書表6.4.11による	
ドリフトピンの孔径		※ ピン径と同径	
・ 図示			
○ 12 表面仕上げ		<6.4.6>(18.12.2)	
見え掛り面の表面の仕上げの程度			
○ 製材			
機械加工		○ A種	
手加工		○ H-A種	
構造用集成材		・ B種	
機械加工		・ C種	
○ 木材保護塗料塗り		<表6.4.4>	
標準仕様書表18.12.11による			
施工箇所		○ 図示	
種別		・ A種	
・ B種			
○ 13 アンカーボルトの設置等		<6.5.3>	
埋込み深さ		○ 図示	
保持及び埋込み工法			
種別		・ A種	
埋め込み位置の許容誤差		※ ±5mm(JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場](3)による)	
・ 図示			
○ 14 基礎天端及び柱底均しモルタル仕上げ		<6.5.4>	
材料		○ 木造標準仕様書6.5.4(4)による	
モルタルの厚さ		○ 図示	
柱底均しモルタルの工法		※ B種	
・ A種			
○ 15 建方精度		<6.5.7>	
建入れ直し後の建方精度の許容値(垂直、水平の誤差の範囲)		※ 別紙Ⅲ 6 (1)に定める	
・ 1/1,000以下			
○ 16 接合金物の工法		<6.5.9>	
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛かり部に使用する接合金物の取付け方法			
○ 図示			
熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱			
○ 埋め木			
・ 簡易発泡硬質ウレタン断熱材(JIS A 9526)			
・			
○ 17 釘、木ねじの工法		<6.5.10>	
釘、木ねじの種類及び間隔		・ 図示	
構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち			
○ 隠し釘打ち		・ 釘頭埋め木	
・ つぶし頭釘打ち		・ 釘頭現し	
○ 18 各種ボルトの工法		<6.5.11>	
♂けの種類、径、本数、間隔及び♂けに応じた座金の大きさ		○ 図示	
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛かり部に使用する♂けの取付け方法		○ 図示	
19 輪型ジベル接合		<6.5.15>	
輪型ジベル			
種類		材質・形状・寸法等	
20 圧入型ジベル接合		<6.5.16>	
圧入型ジベル			
種類		材質・形状・寸法等	
21 火打土台		<6.6.2>	
・ 木製の火打土台		・ 鋼製の火打土台	
22 火打梁		<6.7.8><6.8.6>	
小屋組の火打梁		・ 木製の火打梁	
床組の火打梁		・ 鋼製の火打梁	
○ 23 床束		<6.8.2>	
・ 木製床束			
○ 鋼製床束			
仕様及び設置方法		○ 図示	
・ 樹脂製床束			
仕様及び設置方法		・ 図示	
7 章 枠組壁工法工事			
詳細は、省略する。			
8 章 丸太組構法工事			
詳細は、省略する。			

9 章 C L Tパネル工法工事		<9.2.2>	
1 木材		CLTパネル工法工事に使用する木材は、使用材料表8による	
2 接合金物		<9.2.3>	
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物			
種類		記号	
・ 引張金物		短期許容耐力(kN)	
・ セン断金物		その他	
・			
・			
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物に付属する接合具も含む。			
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物以外の接合金物			
種類		材質	
・		寸法・形状等	
・		備考	
・			
表面処理			
木造標準仕様書9.2.3(1)(c)④		・ 図示	
3 釘及び木ねじ		<9.2.3><9.5.10>	
釘(JIS A 5508)、コクリート用釘、特殊な釘			
○ 釘(JIS A 5508)			
種類		材質	
○ 鉄丸くぎ		表面処理された鉄	
○ 太め鉄丸くぎ		表面処理された鉄	
・			
○ 木ねじ(JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ			
種類		材質	
○ 十字穴付き木ねじ		ステンレス製	
○ すりわり付き木ねじ		ステンレス製	
・		JIS B 1112	
・		JIS B 1135	
・ 釘(JIS A 5508)、木ねじ(JIS B 1112又はJIS B 1135)に規定されているもの以外の接合具、接合金物用接合具等			
材質		・ 図示	
寸法及び形状		・ 図示	
4 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金		<9.2.3><9.5.11>	
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物			
種類		記号	
・ アンカーボルト		その他	
・ 座金			
・			
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物に付属する接合具も含む。			
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物以外の接合金物			
種類		材質	
・		寸法・形状等	
・		備考	
・			
♂け、ナット及び座金			
材料		※ 木造標準仕様書9.2.21による	
・			
寸法		・ 図示	
座金の種別		・ 引張り応力を受ける♂けの座金	
・		木造標準仕様書表9.2.3	
・		・ セン断応力を受ける♂けの座金	
・		木造標準仕様書表9.2.4	
表面処理			
木造標準仕様書9.2.3(1)(c)④		・ 図示	
アンカーボルト、ナット及び座金			
材質		・ 図示	
寸法		・ 図示	
座金の種別		・ 引張り応力を受ける♂けの座金	
・		木造標準仕様書表9.2.3	
・		・ セン断応力を受ける♂けの座金	
・		木造標準仕様書表9.2.4	
表面処理			
木造標準仕様書9.2.3(1)(c)④		・ 図示	
5 ラグスクリュー		<9.2.3><9.5.12>	
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物			
種類		記号	
・ ラグスクリュー		その他	
・			
・			
Ⅹ、Ⅸ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ表示金物以外のラグスクリュー			
種類		材質等	
・ ラグスクリュー		木造標準仕様書表9.2.2の♂けによる	
・		寸法・形状等	
・			
表面処理			
木造標準仕様書9.2.3(1)(c)④		・ 図示	
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛かり部に使用するラグスクリューの取付け方法		・ 図示	
○ 6 ドリフトピン		<9.2.3><9.5.13>	
種類		材質等	
・ ドリフトピン		※ SS400(JIS G 3101)	
・		※ 丸鋼(JIS G 3191)	
・		径：	
・		・	
表面処理			
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④		・ 図示	
7 孔あけ加工		<9.4.4>	
♂け孔の径に加える木部の♂け孔の大きさ		※ 木造標準仕様書表9.4.11による	
ドリフトピンの孔径		※ ピン径と同径	
・ 図示			
8 表面仕上げ		<9.4.5>	
表面の仕上げの程度			
CLTパネル		※ A種	
・ 木材保護塗料塗り		・ B種	
標準仕様書表18.12.11による			
施工箇所		・ 図示	
種別		・ A種	
・ B種			

9 アンカーボルトの設置等		<9.5.3>	
埋込み深さ		・ 図示	
保持、埋込み工法			
・ CLTパネル用アンカーボルト			
種別		・ A種	
・ 土台固定用アンカーボルト			
種別		・ B種	
埋め込み位置の許容誤差			
・ CLTパネル用アンカーボルト			
・			
・ 土台固定用アンカーボルト			
・ ±5mm(JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場](3)による)			
10 基礎天端均しモルタルの仕上げ		<9.5.4>	
材料		・ <9.5.4>(7)による	
モルタルの厚さ		・ 無収縮モルタル	
・ 図示			
11 建方精度		<9.5.7>	
建入れ直し後の建方精度の許容値(垂直、水平の誤差の範囲)		※ 別紙Ⅲ 6 (1)に定める	
・ 1/1,000以下			
12 接合金物の工法		<9.5.9>	
熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱			
・ 埋め木			
・ 簡易発泡硬質ウレタン断熱材(JIS A 9526)			
13 釘及び木ねじの工法		<9.5.10>	
釘、木ねじの種類及び間隔		・ 図示	
構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち			
・ 隠し釘打ち		・ 釘頭埋め木	
・ つぶし頭釘打ち		・ 釘頭現し	
10 章 木工事			
○ 1 材料		<10.2.2>	
木工事に使用する木材等は、使用材料表9による		<10.2.3>	
木工事に使用する合板等は、使用材料表10による			
材料品質の検査は、出荷証明又は表示等により確認する。出荷証明等で確認できない場合の検査数量は、1荷口あたり5部材若しくは10%程度を基本とし、監督職員が別途定めることが出来る。			
○ 2 表面仕上げ		<10.1.3><表10.1.1><表10.1.2>	
見え掛かり面の表面の仕上げの程度			
○ 製材			
機械加工		○ A種	
手加工		・ B種	
構造用集成材		・ C種	
機械加工		※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種	
・		・ H-A種	
・		・ H-B種	
・		・ H-C種	
○ 造作用集成材		<表10.1.1>	
機械加工		○ A種	
・ B種		・ C種	
○ 3 釘、木ねじ等		<10.2.4>	
○ 釘(JIS A 5508)			
種類		材質	
○ 鉄丸くぎ		表面処理された鉄	
・ 太め鉄丸くぎ		表面処理された鉄	
・ 釘(JIS A 5508)に規定されているもの以外			
材質			
○ 造作材化粧面釘打ち			
※ 隠し釘打ち		・ 釘頭埋め木	
・ つぶし頭釘打ち		・ 釘頭現し	
○ 木ねじ(JIS B 1112又はJIS B 1135)			
種類		材質	
○ 十字穴付き木ねじ		ステンレス製	
○ すりわり付き木ねじ		ステンレス製	
・ 木ねじ(JIS B 1112又はJIS B 1135)に規定されているもの以外の木ねじ			
材質			
○ 4 耐水性処理		<10.3.1>(18.12.2)	
屋外に使用する仕上木材			
○ 木材保護塗料塗り			
標準仕様書表18.12.11による			
施工箇所		○ 図示	
種別		・ A種	
・ B種			
5 防虫処理		<10.3.2>	
施工箇所		・ 図示	
処理方法		・ 図示	
○ 6 外壁通気工法下地		<10.8.2>	
積雪地の場合の下地補強			
工法種別		補強方法	
○ 縦通気脚縁工法		※ 木造標準仕様書10.8.2(7)(h)による	
・ 横通気脚縁工法		※ 木造標準仕様書10.8.2(7)(i)による	
・		補強高さ(mm)	
・			
○ 7 和室の造作		<10.10.1>	
柱		・ 背割不要の処理	
11 章 防水工事		<11.2.2><11.2.4>	
1 FRP系塗膜防水			
材料			
・ 6-フドレン			
・ FRP系塗膜防水用6-フドレン		・ 鋳鉄製	
・ オペーフロ管			
※ つば付き		製造所の指定する製品	
施工			
・ 下地合板の上の防火板			
種類		（※ けい酸カルシウム）	
厚さ		（※ 10mm）	
防水層平場の勾配		※ 1/100以上	
水張り試験		・ 行う	
・ 行わない			
○ 2 シーリング		<11.3.2><表11.3.1><11.3.3>	
材料			
下表以外は、木造標準仕様書表 11.3.1による。ただし、外壁の接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書 11章による。			
施工箇所		シーリング材の種類(記号)	
シーリング材の目地寸法		※ 木造標準仕様書11.3.3(1)(7)～(9)による	
・ 図示			

焼津市 総務部 公有財産課 公共施設保全室	株式会社水野建築事務所	管理建築士 水野芳康 一級建築士登録 第360853号	検図 水野	作図 水野	日付 2024/3/21	建設工事名 令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事(建築工事)(債務負担行為)	建築木造工事特記仕様書	2 / 3	A-12-2
--------------------------	-------------	--------------------------------	----------	----------	-----------------	---	-------------	-------	--------

【使用材料表 1】 <div><div>・ JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>構造材の種類</th><th>等級</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 甲種構造材 ・ 甲種Ⅰ ・ 甲種Ⅱ ・ 乙種構造材</td><td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td><td>105×330</td><td>・ SD15 ・ SD20</td><td>K1</td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="7">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td><td>・</td></tr></table><div>・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>等級 (曲げ性能)</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ SD15 ・ SD20</td><td></td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="7">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤグ係数による基準強度の確認は、以下による。 無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ</div><div>(参考)JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤグ係数の基準(等級と曲げヤグ係数)</div><table><tr><th>等級</th><th>E50</th><th>E70</th><th>E90</th><th>E110</th><th>E130</th><th>E150</th></tr><tr><td>曲げヤグ率 (Goa又は10³N/mm²)</td><td>3.9以上 5.9未満</td><td>5.9以上 7.8未満</td><td>7.8以上 9.8未満</td><td>9.8以上 11.8未満</td><td>11.8以上 13.7未満</td><td>13.7以上</td></tr></table><div>・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>等級</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 特等 ・ 1等 ・ 2等</td><td></td><td>・ D10 ・ D13</td><td></td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="7">加工前に縦振動ヤグ係数を測定する部材 対象部材： 県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>・ 無等級材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率 (%)</th><th>保存処理</th><th>強度試験</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験対象部材； ・ 縦振動ヤグ係数測定対象部材；</td><td>・ JAS 1083-4 製材-第4部：機械等級区分構造用製材</td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="8">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>区分</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級 (材面の品質)</th><th>含水率(%)</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="7">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく地下用製材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>等級 (材面の品質)</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td>根太</td><td>すぎ</td><td>・ 1級 ・ 2級</td><td>45</td><td>・ SD15</td><td>・ SD20</td><td>K1</td><td>・</td></tr><tr><td>束</td><td>すぎ</td><td>・ 1級 ・ 2級</td><td>90</td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>母屋</td><td>すぎ</td><td>・ 1級 ・ 2級</td><td>90</td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td colspan="8">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>・ 「集成材の日本農林規格」による構造用集成材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>強度等級 (曲げ性能)</th><th>材面の品質 (使用環境)</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</td><td>・ A ・ B ・ C</td><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="8">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ(mm)</th><th>見付け材面 (面数)</th><th>見付け材面の等級</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td>化粧ばり構造用集成柱</td><td>芯材： 化粧薄板：</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 1等 ・ 2等</td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="8">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>・ JAS 0600に基づく甲種枠組材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名又は樹種群</th><th>寸法型式名 (mm)</th><th>未乾燥材又は乾燥材の別</th><th>保存処理</th><th>材面の品質</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 未乾燥材 ・ 乾燥材</td><td></td><td>・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td><td>・ ・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="7">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table><div>・ JAS 0600に基づく乙種枠組材[G]</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名又は樹種群</th><th>寸法型式名 (mm)</th><th>未乾燥材又は乾燥材の別</th><th>保存処理</th><th>材面の品質</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 未乾燥材 ・ 乾燥材</td><td></td><td>・ コンストラクション ・ スラングード ・ ユアリティ</td><td>・ ・ ・ ・</td></tr><tr><td colspan="7">県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/>適用する <input type="checkbox"/>適用しない</td></tr></table></div>	施工箇所	樹種名	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用			・ 甲種構造材 ・ 甲種Ⅰ ・ 甲種Ⅱ ・ 乙種構造材	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	105×330	・ SD15 ・ SD20	K1	・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							・	施工箇所	樹種名	等級 (曲げ性能)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用					・ SD15 ・ SD20		・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150	曲げヤグ率 (Goa又は10 ³ N/mm ²)	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上	施工箇所	樹種名	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用			・ 特等 ・ 1等 ・ 2等		・ D10 ・ D13		・ ・ ・	加工前に縦振動ヤグ係数を測定する部材 対象部材： 県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	強度試験	保存処理	間伐材等の適用						・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験対象部材； ・ 縦振動ヤグ係数測定対象部材；	・ JAS 1083-4 製材-第4部：機械等級区分構造用製材	・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない								施工箇所	樹種名	区分	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用							・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用	根太	すぎ	・ 1級 ・ 2級	45	・ SD15	・ SD20	K1	・	束	すぎ	・ 1級 ・ 2級	90				・	母屋	すぎ	・ 1級 ・ 2級	90				・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない								施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	材面の品質 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	保存処理	間伐材等の適用			・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ A ・ B ・ C				・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない								施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の等級	間伐材等の適用		化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				・ 1等 ・ 2等	・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない								施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用				・ 未乾燥材 ・ 乾燥材		・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ ・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用				・ 未乾燥材 ・ 乾燥材		・ コンストラクション ・ スラングード ・ ユアリティ	・ ・ ・ ・	県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							<5. 2. 2>									
施工箇所	樹種名	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																	
		・ 甲種構造材 ・ 甲種Ⅰ ・ 甲種Ⅱ ・ 乙種構造材	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	105×330	・ SD15 ・ SD20	K1	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																	
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							・																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	樹種名	等級 (曲げ性能)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
				・ SD15 ・ SD20		・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150																																																																																																																																																																																																																																																																		
曲げヤグ率 (Goa又は10 ³ N/mm ²)	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種名	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
		・ 特等 ・ 1等 ・ 2等		・ D10 ・ D13		・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
加工前に縦振動ヤグ係数を測定する部材 対象部材： 県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	強度試験	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																	
					・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験対象部材； ・ 縦振動ヤグ係数測定対象部材；	・ JAS 1083-4 製材-第4部：機械等級区分構造用製材	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																	
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名	区分	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
						・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
根太	すぎ	・ 1級 ・ 2級	45	・ SD15	・ SD20	K1	・																																																																																																																																																																																																																																																																	
束	すぎ	・ 1級 ・ 2級	90				・																																																																																																																																																																																																																																																																	
母屋	すぎ	・ 1級 ・ 2級	90				・																																																																																																																																																																																																																																																																	
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	材面の品質 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																	
		・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ A ・ B ・ C				・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																	
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																	
	化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				・ 1等 ・ 2等	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																	
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・ 未乾燥材 ・ 乾燥材		・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ ・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・ 未乾燥材 ・ 乾燥材		・ コンストラクション ・ スラングード ・ ユアリティ	・ ・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
県産材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0600に基づくMSR枠組材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
	MSR				・ 未乾燥材 ・ 乾燥材	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
						・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0600に基づく枠用たて継ぎ材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
	たて枠用たて継ぎ材			・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
	たて継ぎ材			・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
	たて継ぎ材			・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0600に基づくMSRたて継ぎ材枠[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
	MSRたて継ぎ材				・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材枠[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
	MSRたて継ぎ材				・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
						・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0701に基づく構造用単板積層材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	曲げ性能 (曲げヤグ係数区分)	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																
	屋根	・ A種構造用単板積層材 ・ B種構造用単板積層材	・ A ・ B ・ C	カラマツ	係数区分： 等級 ・ 特級 ・ 1級 ・ 2級	65V－55H		・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 丸太材[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	含水率 (%)	末口径 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
					・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 木質接着成形軸材料[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
				・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 木質複合軸材料[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
				・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 木質断熱複合パネル[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
				・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 木質接着複合パネル[G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
				・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 構造用パネルボード [G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
					・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 構造用MDF [G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
					・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	防虫処理の適用	単板の樹種名	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																															
	構造用合板		・ 1類 ・ 特類	・ 2級 ・ 1級			・ 適用する ； ・ 適用しない		・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																															
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
	化粧ばり構造用合板			・ 1類 ・ 特類	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ JAS 0360に基づく構造用パネル [G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	厚さ (mm)	曲げ性能 (・ 常態曲げ試験 ・ 湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																				
	構造用パネル		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																				
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ パネルボード [G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
					・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ ハードファイバード [G]																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	油、樹脂等の特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		

・ JAS 0600に基づくMSR枠組材[G]							
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用	
	MSR				・ 未乾燥材 ・ 乾燥材	・	
						・	
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材[G]							
施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用	
						・	
						・	
						・	
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ JAS 0600に基づく枠用たて継ぎ材[G]							
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)		間伐材等の適用		
	たて枠用たて継ぎ材				・		
					・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材[G]							
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)		間伐材等の適用		
	たて継ぎ材				・		
					・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材[G]							
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)		間伐材等の適用		
	たて継ぎ材				・		
					・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ JAS 0600に基づくMSRたて継ぎ材枠[G]							
施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用		
	MSRたて継ぎ材				・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材[G]							
施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用	
						・	
						・	
						・	
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ 木質接着成形軸材料[G]							
施工箇所	形状	寸法 (mm)		含水率 (%)	間伐材等の適用		
					・		
					・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ 木質複合軸材料[G]							
施工箇所	形状	寸法 (mm)		含水率 (%)	間伐材等の適用		
					・		
					・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ 木質断熱複合パネル[G]							
施工箇所	形状	寸法 (mm)		含水率 (%)	間伐材等の適用		
					・		
					・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ 木質接着複合パネル[G]							
施工箇所	形状	寸法 (mm)		含水率 (%)	間伐材等の適用		
					・		
					・		
					・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							
・ JAS 3079に基づく直交集成板[G]							
施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
	・ 異等級構成直交集成材 ・ 同一等級構成直交集成材		・ A種構成 ・ B種構成	・ A ・ B ・ C			・
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない							

焼津市 総務部 公有財産課
公共施設保全室

株式会社水野建築事務所

【使用材料表 4】

○ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の 程度	等級	板面の 品質	曲げ性能 (強度等 級)	防虫処理 の適用	単板の 樹種名	間伐材等 の適用
屋根	構造用合板	24	・ 1類 ○ 特類	○ 2級 ・ 1級	A-B	2 級	○ 適用する ： ・ 適用しない	カラマツ	・
									・
									・

県産木材の適用 ・ 適用する ○ 適用しない

・ 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	間伐材等 の適用
	化粧ばり構造用合板		・ 1類 ・ 特類		・
					・
					・

県産木材の適用 ※ 適用する ・ 適用しない

・ ベーティカルボード [G]

施工箇所	表裏面の状態に よる区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等 の適用
					・
					・
					・

県産木材の適用 ○ 適用する ・ 適用しない

・ JAS 0360に基づく構造用パネル [G]

施工箇所	品名	厚さ (mm)	曲げ性能(等級) (・ 常態曲げ試験 ・ 湿潤曲げ試験)				間伐材等 の適用
	構造用パネル		・ 1級	・ 2級	・ 3級	・ 4級	・
							・
							・

県産木材の適用 ○ 適用する ・ 適用しない

【使用材料表 5】

省略する。

【使用材料表 6】

省略する。

【使用材料表 7】

省略する。

【使用材料表 8】

・ JAS 3079に基づく直交集成材[G]

施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等 の適用
	・ 異等級構成直交集成材 ・ 同一等級構成直交集成材		・ A種構成 ・ B種構成	・ A ・ B ・ C			・
							・
							・

県産木材の適用 ※ 適用する ・ 適用しない

【使用材料表 9】

○ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材[G]

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
根太	すぎ	○ 1級	・ 2級	45×45	・ SD15 ○ SD20	K1 ○
束	すぎ	○ 1級	・ 2級	90×90		○
母屋	すぎ	○ 1級	・ 2級	90×90		○

県産木材の適用 ※ 適用する ・ 適用しない

○ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材[G]

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
見え掛り面	ひのき	※ 上小節	25×100	○ SD20	K1	○
見え掛り面	すぎ	※ 上小節	t 12	○ SD20	K1	○
見え掛り面以外	すぎ	※ 小節以上		○ SD20	K1	○

県産木材の適用 ※ 適用する ・ 適用しない

・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材[G]

施工箇所	樹種名	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
	・ 特等	※ 1等	・ 2等	※ 10以下 ・ 13以下		・
						・
						・

県産木材の適用 ※ 適用する ・ 適用しない

・ JAS 1083(製材)以外の下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等 の適用
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・
								・
								・

県産木材の適用 ※ 適用する ・ 適用しない

・ JAS 1083(製材)以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材[G]

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等 の適用
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ： ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・
								・
								・

県産木材の適用 ※ 適用する ・ 適用しない

管理建築士 水野芳康 一級建築士登録 第360853号	棟割	作図	日付
	水野	水野	2024/3/21

・ JAS 1083(製材)以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材[G]									
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等 の適用	
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する : ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・	
								・	
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
○ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材[G]									
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の 品質	間伐材等 の適用			
図書室 2階ホール	カウンター	ひのき	4	t 25 D 600	※ 1等 ・ 2等	・			
						・			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材[G]									
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の 品質	間伐材等 の適用			
	化粧ばり 構造用集成材	芯材: 化粧薄板:			※ 1等 ・ 2等	・			
						・			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成柱[G]									
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の 品質	間伐材等 の適用			
	化粧ばり 構造用集成柱	芯材: 化粧薄板:			・ 1等 ・ 2等	・			
						・			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材[G]									
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)		間伐材等 の適用			
				※ 15以下		・			
						・			
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 [G]									
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け材面の 品質	含水率 (%)		間伐材等 の適用		
	芯材: 化粧薄板:				※ 15以下		・		
							・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成柱 [G]									
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け材面の 品質	含水率 (%)		間伐材等 の適用		
					※ 15以下		・		
							・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材[G]									
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工		防虫処理の適用		間伐材等 の適用		
	造作用単板 積層材		・ 無 ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等 ・ 有 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工		・ 適用する : ・ 適用しない		・		
							・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ JAS 0701以外の造作用単板積層材[G]									
施工箇所	寸法 (mm)	表面の化粧加工		含水率 (%)		防虫処理の適用	間伐材等 の適用		
		・ 無 ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等 ・ 有 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工		※ 14以下 ・		・ 適用する : ・ 適用しない	・		
							・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									
・ JAS 3079に基づく直交集成板[G]									
施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等 の適用		
	・ 異等級構成 直交集成材 ・ 同一等級構成 直交集成材		・ A種構成 ・ B種構成	・ A ・ B ・ C			・		
							・		
県産木材の適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない									

署名

令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事(建築工事)(債務負担行為)

別表

乾式保護材

品質・性能

分類・規格	窯業系パネルⅠ類 (寒地仕様)	窯業系パネルⅡ類 (一般的な仕様)	金属複合板
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		—
出荷時の含水率	出荷時において10%以下		—
外観	割れ、貫通、き裂がない。欠け、ねじれ、そり、異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。		
曲げ強さ・曲げモーメント(φ40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	標準時 凍結融解完了時の曲げモーメント(試験片1枚数)		
吸水率(%)	20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。
耐衝撃性能	質量1,000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。
両性(注1)φ40cm幅30cmの中央部17時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる両性	—	—	80,000N・cm2以上

試験方法

(1)寸法の試験方法
(厚さ)
供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅)
供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定す破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。
測定項目については、凍結融前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1〜3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。
(5)吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅400 mm×長さ160 mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後、取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140 mmになるように標線を刻む。
その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平に立てて、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。
24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率((ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)=(L2-L1)/L1×100
ΔL：給水による長さ変化率(%)
L1：乾燥時の標線間の長さ(mm)
L2：吸水時の標線間の長さ(mm)
(6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)凍結融解操作の試験条件は、試験片の切捨小口面をあらかじめシールし、5〜35℃清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。
試験体の大きさは、4号(長さ400 mm、幅300 mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能	
保水率	70.0%以上	
単位容積質量	1.80kg/L以上	
接着強さ	標準時 温冷繰り返し後	0.60N/mm2以上 0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下	
曲げ強さ	4.00N/mm2以上	

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するみき板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を金べら分がで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて、1 mmの単位で測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率=50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの径内径(mm)
(3)単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。
(4)接着強さ(標準時)の試験方法
イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ハ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(取縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、試験4時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2)試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0〜1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3)保水性(ろ紙法)
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの径内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。
(4)接着強さ(標準時)の試験方法
イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(取縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、試験4時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2)試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0〜1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3)保水性(ろ紙法)
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの径内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。
(4)接着強さ(標準時)の試験方法
イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(取縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、試験4時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2)試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0〜1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3)保水性(ろ紙法)
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの径内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。
(4)接着強さ(標準時)の試験方法
イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(取縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、試験4時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2)試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0〜1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3)保水性(ろ紙法)
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの径内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。
(4)接着強さ(標準時)の試験方法
イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(取縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、試験4時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2)試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0〜1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3)保水性(ろ紙法)
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの径内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。
(4)接着強さ(標準時)の試験方法
イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(取縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、試験4時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2)試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0〜1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3)保水性(ろ紙法)
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの径内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。
(4)接着強さ(標準時)の試験方法
イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の表中から選り明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(取縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。

現場発泡断熱材			床点検口		
品質・性能			品質・性能		
難燃性			燃焼性		
発熱性			燃焼性		
試験方法			試験方法		
フリーアクセスフロア			床点検口		
性能			品質・性能		
標準仕様書表20.2.2)によるほか以下による。			品質・性能		
(1)耐震性能			品質・性能		
①「ベア」プレート又は「カー」が耐力に達したとき若しくはコンクリート接着面が剥離したとき			品質・性能		
②上記①以外の部分が耐力に達したとき			品質・性能		
③適用地震時水平力(0.6G又は1.0G)を加力した時の支柱頂部の変位			品質・性能		
<適用地震時水平力>			品質・性能		
3,000N・0.6Gタイプ			品質・性能		
支柱一本が負担する床加重(㎡当り自重+3,000N/㎡当りの支柱本数)×0.6			品質・性能		
3,000N・1.0Gタイプ			品質・性能		
支柱一本が負担する床加重(㎡当り自重+3,000N/㎡当りの支柱本数)×1.0			品質・性能		
5,000N・0.6Gタイプ			品質・性能		
支柱一本が負担する床加重(㎡当り自重+5,000N/㎡当りの支柱本数)×0.6			品質・性能		
5,000N・1.0Gタイプ			品質・性能		
支柱一本が負担する床加重(㎡当り自重+5,000N/㎡当りの支柱本数)×1.0			品質・性能		
r) 振動台試験による耐震性能(設計床高さ≦300mmの場合のみ)			品質・性能		
パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動しない。			品質・性能		
(2)歩行感			品質・性能		
通常の歩行において空洞音やたつきがなく、歩行感に違和感がない			品質・性能		
(3)メンテナンス性			品質・性能		
交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。			品質・性能		
構造、形状は配線の変更及び増設に対して支障がないこと。			品質・性能		
試験方法			品質・性能		
(1)耐震性能			品質・性能		
r) 設計床高さ≦300mmの場合			品質・性能		
試験体ユニット1000mm×2500mm程度			品質・性能		
所定の重りの質量 3000N：200kg 5000N：350kg			品質・性能		
加板 0.6G：所定加加速度600cm/s ² 1.0G：所定加加速度1000cm/s ²			品質・性能		
r) 300mm<設計床高さ≦600mmの場合			品質・性能		
(1) 固定台による耐震性能試験			品質・性能		
1) 支柱調整型・支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。			品質・性能		
2) 原則として、試験方法-1は「ベ」部単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-1は「ベ」部連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。			品質・性能		
② 試験方法-1			品質・性能		
1) 試験は、コングリート(JIS A 5371「プレキャスト無筋コングリート製品」種類：N300)に接着した支柱の頂部に			品質・性能		
対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。			品質・性能		
2) 加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。			品質・性能		
③ 試験方法-2			品質・性能		
1) 試験は、コングリート(JIS A 5371「プレキャスト無筋コングリート製品」種類：N300)に接着した数ユニットの			品質・性能		
支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。			品質・性能		
2) 最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。			品質・性能		
また、800mm×800mmの荷重板に1920N(3,000N/1m2相当)、3,200N(5,000N/1m2相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。			品質・性能		
④ 零点補正及び測定記録			品質・性能		
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。			品質・性能		
r) 共通事項			品質・性能		
試験に使用する表面仕上材			品質・性能		
種類：タイルカーペット			品質・性能		
バイル携帯：ループバイル			品質・性能		
パッキング素材：塩化ビニル樹脂			品質・性能		
単位質量：4.0kg/㎡～6.0kg/㎡			品質・性能		
移動間仕切り			品質・性能		
標準仕様書20.2.4)によるほか以下による。			品質・性能		
品質等			品質・性能		
(1)パネル(表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材)及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切り」に規定する表9 材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものとする。			品質・性能		
(2)外観は、JIS A 6512に規定する 5. 要求事項a)～c) による。			品質・性能		
性能			品質・性能		
(1)パネルの操作性			品質・性能		
パネル操作の初動力は98 N 以下とする。			品質・性能		
(2)パネル圧着装置の耐久性			品質・性能		
パネル圧着装置の固定・解除は、7,500 回の繰返し耐久試験において異常がないものとする。			品質・性能		
焼津市 総務部 公有財産課 公共施設保全室			株式会社水野建築事務所		
管理建築士 水野芳康 一級建築士登録 第360853号			2024/3/21		
検図			作図		
水野			水野		
日付			建設工事名		
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事(建築工事)(債務負担行為)			図番		
別表(R05.12)			2 / 3		
A-13-2					

【屋上緑化軽量システム】

品質・性能	
項目	品質・性能
透水、排水層等構成材の 主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を 流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を流出しな い構造であること。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上
耐荷重性能	3×104N/㎡以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。
排水層の許容圧縮強度	また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3 年以上の耐根性能(貫通防止能力)を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性の あるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及 び施工後の耐根層を保護できること。ただし、耐根層を保護シート(絶縁 シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

試験方法

- (1)排水層の耐荷重性能
- イ) 3×10⁴N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。保水層を有する場合は保水層も対象とする。
- ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

トブライト

品質・性能等				
項目	品質・性能			
付帯品	水切、結露受、額縁等が必要に応じて取り付けられること。			
アルミニウム合金の 押出形材	材質 JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」 に規定するものとする。			
	表面処理 JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化 塗装複合被膜」に規定する種類 Bとする。			
ステンレス鋼板				
JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する SUS304 及びSUS430J1L とする。				
副資材	アルミ ニウム板	材質 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」 に規定するものとする。		
	厚さ	枠・かまち等に用いる場合は、1.5mm以上とする。		
	表面処理	JIS H 8602に規定する種類のBとする。		
	鋼板等	材質 補強材、力骨、アンカー等は、亜鉛めっきなどの接触腐食の 防止処置を行ったもの、又はアルミニウム合金製とする。		
	ステンレス 鋼板	材質 JIS G 4305に規定する SUS304 及び SUS430J1Lとする。		
表面仕上げ	No.2B又はHLとする。			
合成樹脂系成形材	耐久性を有し使用箇所に適したものであるとする。			
気密材	耐久性を有し使用箇所に適したものであるとする。			
小ねじ類	ステンレス製とする。			
製品の寸法許容差 及び相対する 辺寸法の差	寸法部位	寸法	許容差	相対する辺寸法の差
	枠の内法寸法	2.0m未満	±1.5mm	
	高さ及び幅	2.0m以上3.5m未満	±2.0mm	
	枠の相対する 辺寸法の差	2.0m未満		2mm以下
	2.0m以上3.5m未満			3mm以下
耐風圧性	枠の見込み寸法	120mm未満	±1.0mm	
	耐風圧等級	S-5	S-6	S-7
	耐風圧区分	2,400Pa	2,800Pa	3,600Pa
	1) 加圧中破損のないこと。 2) 無目・方立がある場合は、そのたわみ率が1/150以下であること。 3) 除圧後、枠及び戸の部材、金具、その他に機能上支障がないこと。			
気密性	気密性による等級	A-4		
	気密等級線	A-4等級線		
水密性	通気量が JIS A 4706「サッシ」の図-11に規定する気密等級線以下とすること。			
	水密性による等級	W-5		
	サッシ前後の圧力差	500Pa		
	加圧中に JIS A 1517「建具の水密性試験方法」に規定する枠外への流れ出し、 しぶき、吹き出し、あふれ出しの状況が発生しないこと。			
耐火性能	建築基準法施行令第107条による屋根の30分耐火構造とする。			
(1) 枠部材の接合は、強固で、見え掛り箇所(ねじを含む)は平滑であること。				
(2) 枠には、必要に応じて付属部品を取り付けるための補強が施されていること。				
(3) 補強に用いる場合には接触腐食を起こさないよう処置してあること。				
(4) 組立ては、形状寸法、取合い等を正確に行い、特に雨仕舞い及び開閉具合(開閉機構のある製品に限る) に注意してあること。				
(5) 枠、水切り板等のアンカー間隔は、製品に適したものとし、両端から逃げた位置から間隔500mm以下に 取り付けること。				
(6) 雨水の浸入の恐れがある接合部には、その箇所に相応したシーリング材又は止水材を用いて止水処理 を行うこと。				
(7) ガラス溝の寸法・形状等は製造所の仕様による。				

試験方法

- (1)耐風圧性については JIS A 1515「建具の耐風圧性試験方法」
- (2)気密性 については JIS A 1516「建具の気密性試験方法」
- (3)水密性 については JIS A 1517「建具の水密性試験方法」
- (4)断熱性 については JIS A 1492「出窓及び天窓の断熱性試験方法」
- ※2006(平成18)以前の評価については、JIS A 4710「建具の断熱性試験方法」も可とする。

ポリマーセメントモルタル

性能		品質・性能	
項目			
だれ	下がり量(mm)	5以内	
	表面の状態	ひび割れの発生がないこと。	
曲げ強さ(N/mm2)		6.0以上	
圧縮強さ(N/mm2)		20.0以上	
接着強さ(N/mm2)	標準条件	1.0以上	
	特殊条件	湿潤時	0.8以上
		低温時	0.5以上
透水性		表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。	
その他		1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	
		2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	

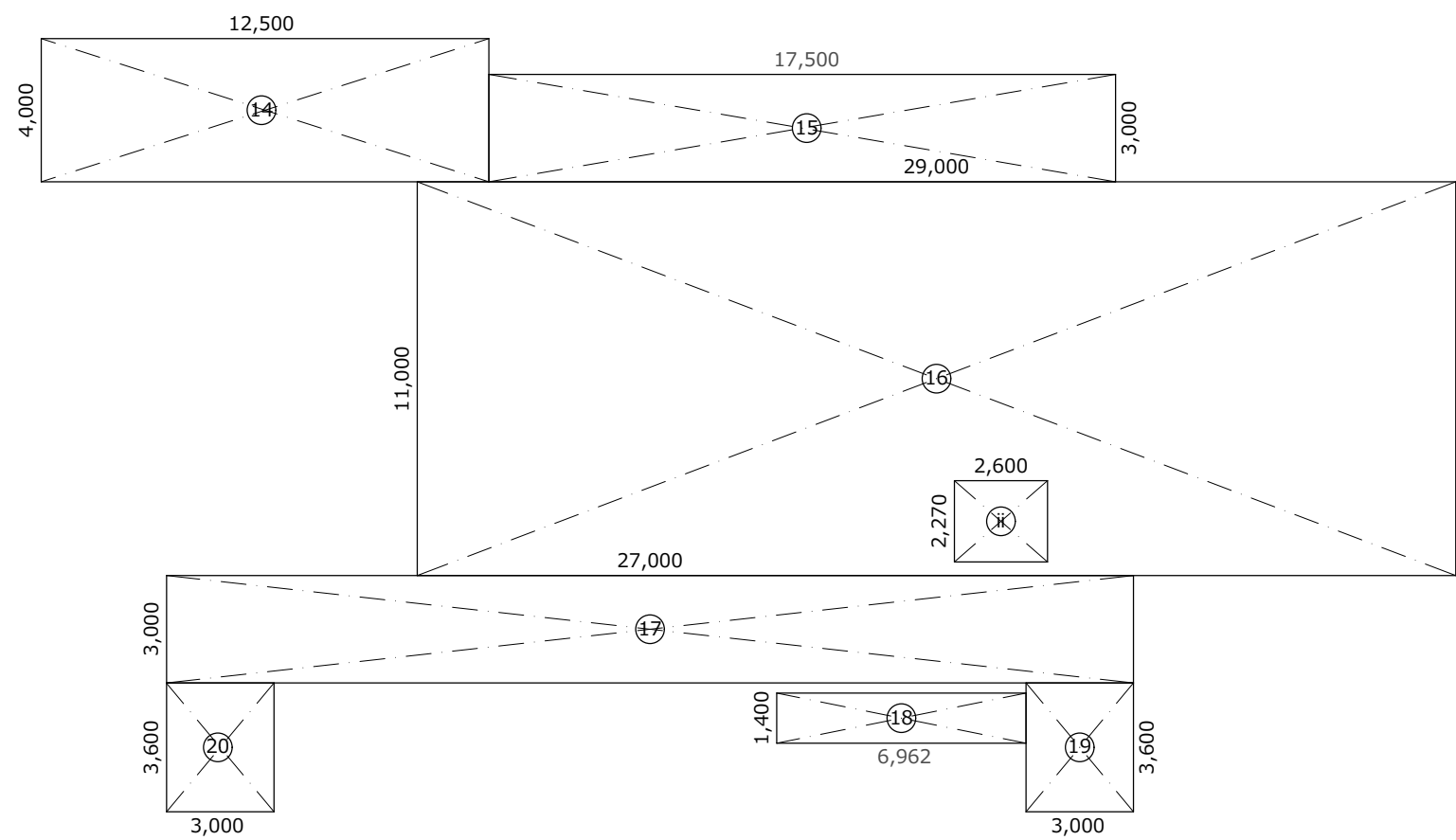
試験方法

- (1)だれの試験方法は、JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N300の表面をワイヤブラシ等で清浄し、その上に厚さ10mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にポリマーセメントモルタルを塗り付け、塗り付け開始から5分後に平らにおかれていた平板を直角に立て起し、そのままの状態で静置する。24時間後のポリマーセメントモルタルの変形状態を観測し、その形状の以上の有無とだれ長さを測定する。
- (2)曲げ強さ、圧縮強さの試験方法は、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に規定する7.3による。
- (3)接着強さの試験方法は、JIS A 5371に規定する普通平板 N300の表面をワイヤブラシ等を用いて清浄し、その上に厚さ10mmになるようポリマーセメントモルタルを塗り、14日間経過した後その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張りを加える。最大荷重(P)を断面積(A)で除し、接着強さを求める。
- (4)透水性試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に規定する8.6に定める方法による。
- (5)接着耐久性試験(温冷繰返し後)は、JIS A 1171に規定する7.5による。
- (6)透水量試験は、JIS A 6916「建築用地下調整塗材」に規定する7.15による。
- (7)吸水量試験は、JIS A 1171に規定する7.6による。
- (8)長さ変化率試験は、JIS A 1171に規定する7.8による。
- (9)試験室は、温度 20±2℃、湿度 60%以上とする。

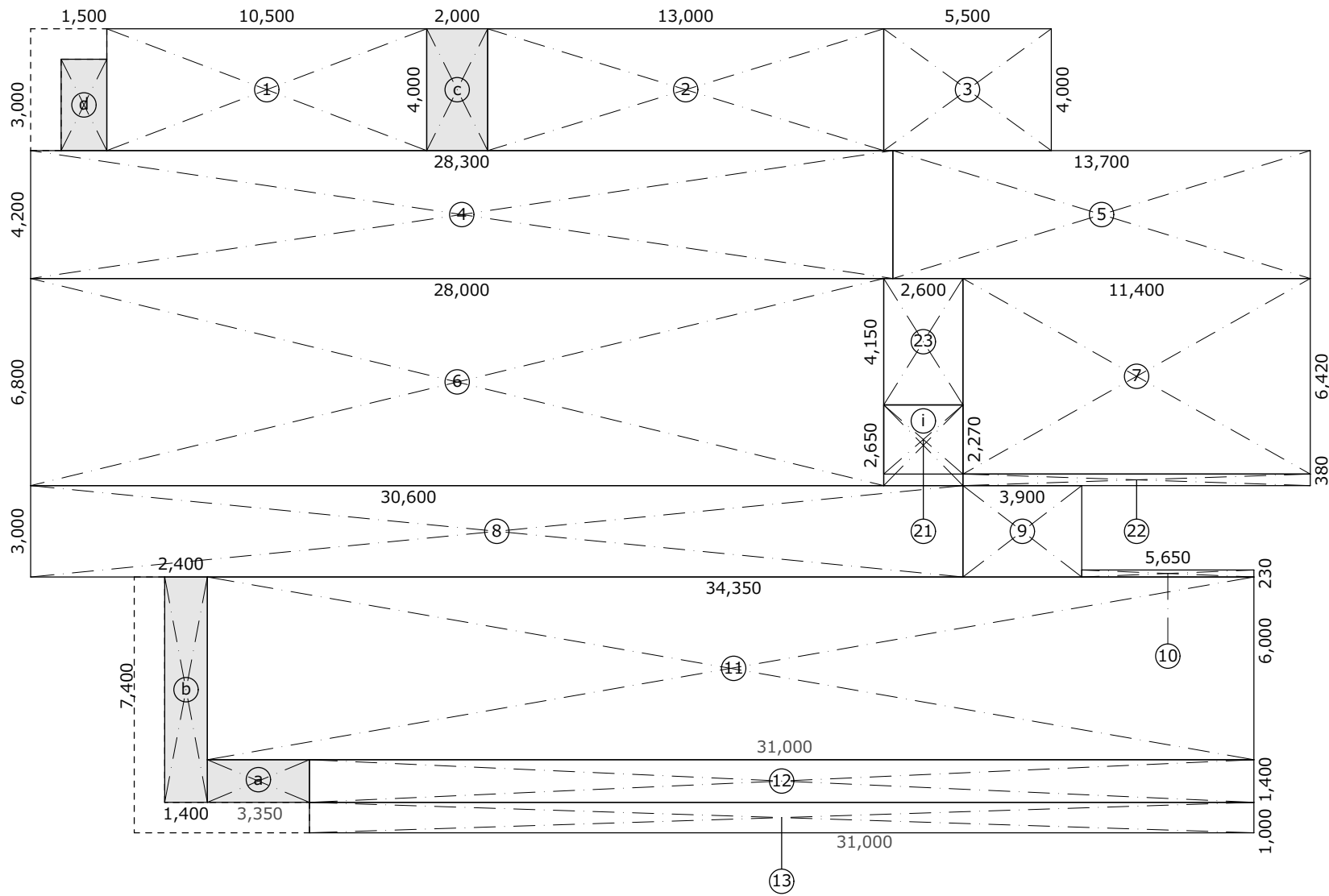
焼津市 総務部 公有財産課 公共施設保全室	株式会社水野建築事務所	管理建築士 水野芳康 一級建築士登録 第360853号	検図 水野	作図 水野	日付 2024/3/21	建設工事名 令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事(建築工事)(債務負担行為)	別表(R05.12)	3 / 3	図番 A-13-3
--------------------------	-------------	--------------------------------	----------	----------	-----------------	---	------------	-------	--------------

施 工 条 件 特 記 仕 様 書																	
下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。																	
	明示項目		適用項目	明示が必要な場合		明示事項		内容									
1 工 程 関 係	1	関連工事との調整	○	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分		全て										
					影響を受ける工事内容		全て										
					関連する工事内容		別途発注予定の焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（電気設備工事、機械設備工事、空調設備工事、外構工事）										
					関連する工事の開始又は完了の時期		全工程										
	2	施工時期、時間の制限	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容		工事車両の出入り										
					制限される施工時期・施工時間		生徒、児童の登校時間（午前8時ごろ）を避けること										
					制限される施工方法												
	3	関係機関等との協議		当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容												
					協議内容												
					協議成立見込時期												
					関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	影響を受ける部分											
	影響を受ける内容																
	4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査		工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目												
					調査期間												
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間												
	5	作業不能日数			休日日数以外の作業不能日数												
6	指定部分		工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）													
				当該工事の工期		現場説明書による。											
2 用 地 関 係	1	仮用地等として官有地の提供	施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲													
				時間・時期													
				使用条件													
				復旧方法													
3 公 害 関 係	1	公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	○	工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間		低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規定及び排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定される建設機械・設備を使用するものとする。										
					2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分								
									調査時期								
									未然に防止するための必要な調査方法		未然に防止するための必要な調査範囲						
				電波障害等に起因する事業損失防止調査	電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分											
						調査時期											
						未然に防止するための必要な調査方法		未然に防止するための必要な調査範囲									
4 安 全 対 策 関 係	1	交通安全施設		交通安全施設等を指定する場合	指定の内容												
					指定の期間												
	2	近接施工		鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法												
					制限される作業時間帯												
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設		落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容												
	4	交通誘導警備員の配置	○	交通誘導警備員の配置を指定する場合	延べ人数		交通誘導警備員 A		交通誘導警備員 B	333人							
					配置時間		交通誘導警備員 A	8時～17時まで（8時間）	交通誘導警備員 B	8時～17時まで（8時間）							
		5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策		有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	換気設備等の内容											
5 工 事 用 道 路 関 係	1	一般道の使用		搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路												
					制限される使用期間												
					制限される使用時間帯												
					使用中・使用後の処置内容												
					搬入、搬出路の使用中止及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容											
	2	仮道路		仮道路を設置する場合	仮設道路の仕様												
					安全施設等の設置期間												
					工事終了後の措置												
						6 仮 設 備 関 係											
						7 建 設 副 産 物 関 係	1	建設発生土の搬出	○	建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離	工事特記仕様書による。					
							2	建設副産物の利用		現場内での再利用又は減量化が必要な場合	現場内利用の内容						
								減量化の内容									
						○	3	建設副産物及び建設廃棄物の処理	○	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。					
								再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	受入場所、距離等の処理条件	建設廃棄物の種類	数量	処理等施設の名称	片道運搬距離	受入条件等			
						8 工 事 支 障 物 件 等	1	工事支障物件協議		地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等	支障物件名	管理者名	支障物件の位置			
								支障物件の移設時期		工事方法		防護					
									地上、地下等の占用物件に係る工事期間と重複して施工する場合	工事内容							
									工事期間								
						9 排 水 関 係	1	排水処理	○	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法	排水処理の方法	放流先			
												直 接 排 水	水 路				
								予定される排水量		排水の水質基準		放流費用					
						○	2	水替・流入防止施設	○	水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容	シ ー ト パ イ ル					
									設置期間	9 0 日 間							
						10 薬 液 注 入 関 係	1	薬液注入		薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	設計条件	施工工法	材料種類			
											ボ ン プ 排 水						
											施工範囲	削孔数量及び延長	注入量及び注入圧				
									周辺環境に与える影響の調査が必要な場合	周辺環境調査の内容							
						11 そ の 他	1	工事現場発成品		工事現場発成品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所	工事特記仕様書による。					
							2	支給品及び貸与品		支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質						
											規格又は性能						
										引渡場所・引渡期間							
							3	関係機関との近接協議		近接協議に係る条件及び内容							
							4	架設工法		架設工法を指定する場合	施工方法						
											施工条件						
							○	5	工事用水、電力	○	工事用水を指定する場合	工事用水の内容	工事特記仕様書による。				
						○				工事電力を指定する場合	工事電力の内容	工事特記仕様書による。					
						6	新技術・新工法・特許工法		新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容							
						7	部分使用		部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所							
										部分使用時期							
						8	週休2日工事	○		対象期間の協議時期	契約後、速やかに協議する。						
焼津市 総務部 公有財産課 公共施設保全室			(株)水野建築事務所			管理建築士 水野芳康 一級建築士登録 第360853号		検図 水 野	作図 水 野	日付 2024/03/21	工事名 令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）			施工条件特記仕様書			図番 A-14

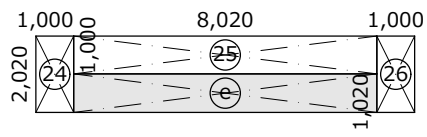
建物求積表



申請建物① 2階求積図 1:200



申請建物① 1階求積図 1:200



申請建物② 求積図 1:200

求積表

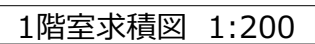
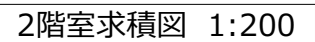
申請建物①					申請建物②						
①	10.500	×	4.000	=	42.000000	㉔	1.000	×	2.020	=	2.020000
②	13.000	×	4.000	=	52.000000	㉕	8.020	×	1.000	=	8.020000
③	5.500	×	4.000	=	22.000000	㉖	1.000	×	2.020	=	2.020000
④	28.300	×	4.200	=	118.860000						
⑤	13.700	×	4.200	=	57.540000	e	8.020	×	1.020	=	8.180400
⑥	28.000	×	6.800	=	190.400000						
⑦	11.400	×	6.420	=	73.188000						
⑧	30.600	×	3.000	=	91.800000						
⑨	3.900	×	3.000	=	11.700000						
⑩	5.650	×	0.230	=	1.299500						
⑪	34.350	×	6.000	=	206.100000						
⑫	31.000	×	1.400	=	43.400000						
⑬	31.000	×	1.000	=	31.000000						
⑭	12.500	×	4.000	=	50.000000						
⑮	17.500	×	3.000	=	52.500000						
⑯	29.000	×	11.000	=	319.000000						
⑰	27.000	×	3.000	=	81.000000						
⑱	6.962	×	1.400	=	9.746800						
⑲	3.000	×	3.600	=	10.800000						
⑳	3.000	×	3.600	=	10.800000						
㉑	2.600	×	2.650	=	6.890000						
㉒	11.400	×	0.380	=	4.332000						
㉓	2.600	×	4.150	=	10.790000						
a	3.350	×	1.400	=	4.690000						
b	7.400	×	1.400	=	10.360000						
c	2.000	×	4.000	=	8.000000						
d	1.500	×	3.000	=	4.500000						
i	2.600	×	2.270	=	5.902000						
ii	2.600	×	2.270	=	5.902000						

建築・延床面積表

	申請建物①		申請建物②		合計
建築面積	①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+㉑+㉒+㉓+a+b+c+d	959.849500 959.84 m ²	e	8.180400 8.18 m ²	968.02 m ²
1階床面積	①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+㉑+㉒+㉓	963.299500 963.29 m ² . . . A	②4+②5+②6+e	20.240400 20.24 m ²	
2階床面積	⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳	533.846800 533.84 m ² . . . B			
延床面積 (法定)	A+B	1,497.13 m ² . . . C	②4+②5+②6+e	20.240400 20.24 m ² . . . E	1,517.37 m ²
EV昇降路 面積	i+ii	11.80 m ² . . . D			
延床面積 (容積対象)	C-D	1,485.33 m ²			1,485.33 m ²

用途別面積表

	申請建物①		申請建物②		
地域交流 センター	①+②+④+⑥+⑧+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑	1,317.596300 1,317.59 m ²	駐輪場	②4+②5+②6+e	20.240400 20.24 m ²
地域子育て 支援施設	③+⑤+⑦+⑨+⑲+㉒+㉓	179.550000 179.55 m ² A			



工 事 名	図 面 内 容	縮 尺	担 当	検 図	年 月 日	 株 式 会 社 水 野 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955 水 野 芳 康	図 番
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）	面積表（2）	S 1:200	水野芳康 一級建築士 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21		A

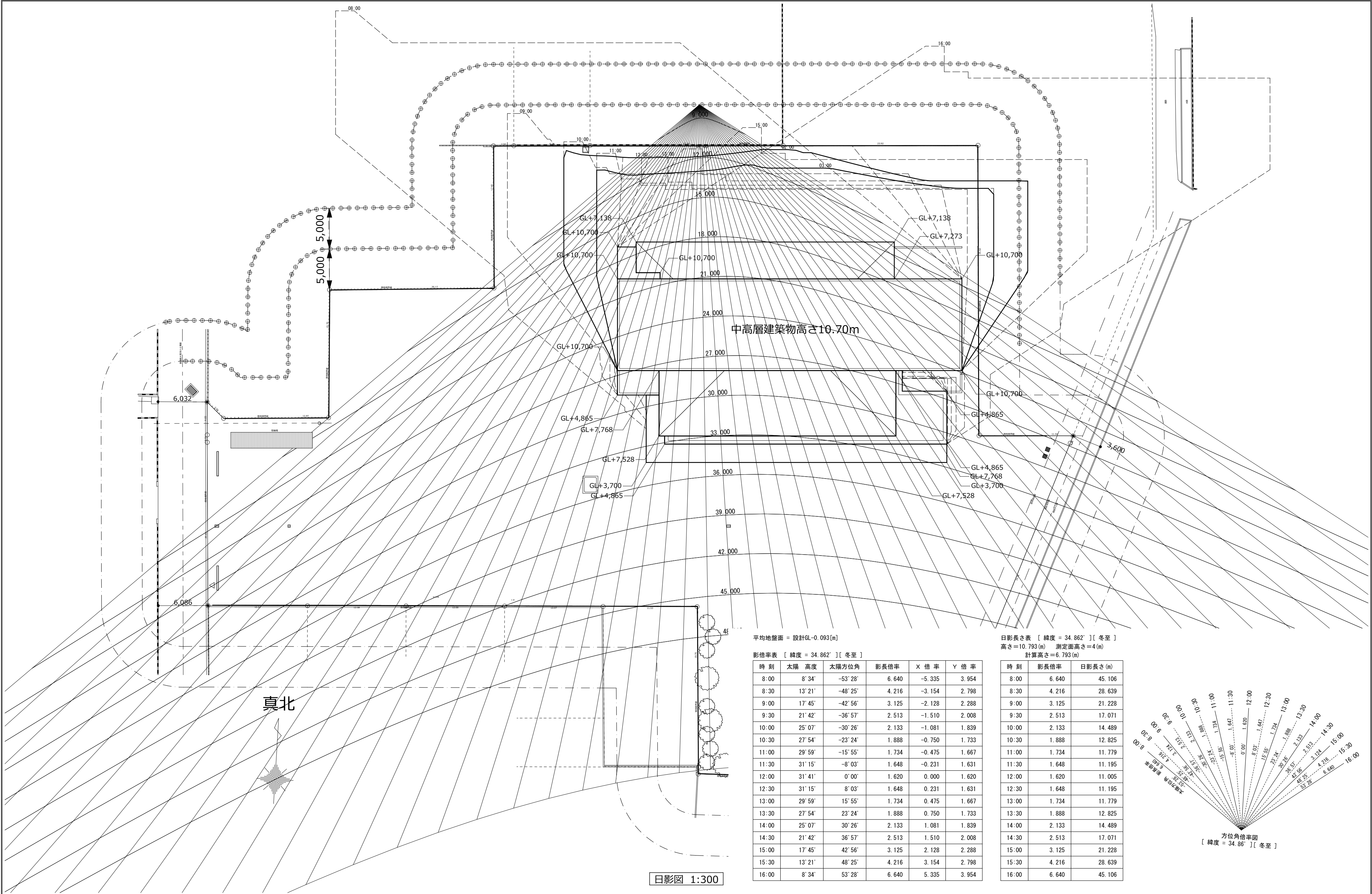
担 当	検 図	年 月 日	 株 式 会 社 水 野 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955	図 番
水野芳康 一級建築士 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21		水 野 芳 康 A

建 築 関 係 法 令 チ ェ ッ ク 表									
【 建 築 基 準 法 】					【 静 岡 県 建 築 基 準 条 例 】				
【 集 団 規 定 】		【 項 目 】	【 チェック内容 】		【 チェック内容 】				
1	法42条	道路	法42条1項1号（東明側大覚寺小土東線） 幅員：6.03 m	OK	25	県条例5条	敷地と道路との関係	延床面積 1,494.81 m ² より、接道距離 24.97 m > 8.0 m	OK
2	法43条	接道	接道長さ（東明側大覚寺小土東線）：24.97 m	OK	26	県条例9条	しろありによる害を防ぐための措置	延床面積 1,494.81 m ² > 200 m ² 、階数2 ≧ 2より、木造部分の構造耐力上主要な部分は防蟻処理を行う。	OK
3	法48条	用途地域	第一種中高層住居専用地域	OK	27	県条例11条	特殊建築物	集会場：客席を有しない為、該当しない。 児童福祉施設等：特殊建築物に該当する。	OK
4	法52条	容積率	敷地面積：5,182.70 m ² 、延床面積：1,483.01 m ² 容積率：150%(<6.03×40=241%) < 1,483.01/5,182.70×100=28.61 %	OK	28	県条例13条	特殊建築物の敷地と道路の関係	集会場：客席を有しないため、該当しない。	OK
5	法53条	建蔽率	敷地面積：5,182.70 m ² 、建築面積：965.88 m ² 容積率：60% > 965.88/5,182.70×100=18.63 %	OK	29	県条例17条	避難階の出入口	児童福祉施設等：186.44 m ² < 1,000 m ² より、該当しない。	OK
6	法56条	斜線制限	道路斜線：最高高さ 10.814 < (6.03+50.31×2)×1.25 = 133.31 m 隣地斜線：最高高さ11.784 m < 20.00 m 北側斜線：第一種中高層住居専用地域内の日影制限適用により、該当しない。	OK	【 バリアフリー 法 （ 移 動 円 滑 化 基 準 ） 】				
7	法56条の2	日影制限	最高高さ11.667 m > 10.00 mより、該当する。	OK	30	令9条	基準適合義務の対象となる特別特定建築物の規模	延床面積 1,482.36 m ² < 2,000 m ² より該当しない。	OK
8	法61条～法67条	防火・準防火地域内の建築物	指定なし	OK	32	令11条	廊下等	階段の上端に隣接する廊下に警告点字ブロックを設置する。	OK
【 単 体 規 定 】		【 項 目 】	【 チェック内容 】		33	令12条	階段	段がある部分の上端に隣接する踊場の部分に警告点字ブロックを設置する。	OK
9	法22条	屋根	屋根1（RC造・鉄骨造部）：コンクリート下地の上 改質アスファルトシート防水、一部 ウレタン塗膜防水、一部 超速硬化複合ウレタン防水（平12建告1365号1項一） 屋根2（木造部）：カラーガルバリウム鋼板 t0.5 立ハゼ葺き（平12建告1400号1項十）	OK	34	令14条	便所	多数の者が利用する便所：階ごとに1以上の車椅子使用者用便房及び、高齢者障害者が円滑に利用できる水栓器具を設ける。	OK
10	法23条	外壁	外壁1（RC造）：コンクリート打ち放し仕上の上シラン系表面含浸材塗布（平12建告1399号1項一）	OK	35	令16条	敷地内の通路	勾配が1/12を超え、又は高さが16cmを超え、かつ、勾配が1/20を超える傾斜がある部分には、手すりを設ける。	OK
					36	令17条	駐車場	車いす使用者駐車施設：2台、幅350cm	OK
11	法25条	大規模の木造建築物等の外壁等	外壁1（RC造）：コンクリート打ち放し仕上の上シラン系表面含浸材塗布（平12建告1399号1項一） 屋根1（RC造）：コンクリート下地の上 改質アスファルトシート防水、一部 ウレタン塗膜防水（平12建告1365号1項一）	OK	37	令18条	移動円滑化経路	出入口の幅：80cm以上、廊下の幅：120cm以上、敷地内の通路：120cm以上	OK
				OK	38	令19条～令21条	標識・案内設備・案内設備までの経路	エレベーター、便所、駐車場付近の高齢者、障害者の見やすい一位置に標識を設ける。 また、上記を記した案内板を設ける。	OK
12	法26条	防火壁	準耐火建築物（法2条1項九号の三ロ（1））の為、該当しない。	OK	【 消 防 法 】				
13	法27条	耐火・準耐火建築物にしなければならない特殊建築物	地域交流センター（08140）：利用者が地域住民に限られ不特定多数の利用は想定されない為、該当しない。 地域子育て支援施設（08220）：186.44 m ² < 300 m ² より、該当しない。	OK	【 チェック内容 】				
14	法28条	居室の採光・換気（令19、20、20の2、20の3）	別表1参照	OK	40		用途	(1) 項ロ（公会堂・集会場）	OK
15	法28条の2	シックハウス	使用材料：F☆☆☆☆ 24時間換気設備の設置	OK	41		消火設備	延床面積 1,494.81 m ² > 300 m ² の為、該当する。	OK
16	法31条	便所	合併式浄化槽 機械設備図人槽算定による。	OK	42		屋内消火栓設備	準耐火建築物 延床面積 1,494.81 m ² の為、該当する。	OK
17	法33条	避雷針設備	最高の高さ：11.667 m < 20.00 m	OK	43		避難器具	○収容人員の算定 1階：従業員の数+（大ホール面積+料理実習室面積）/0.5+（幼児の数） =10+(171.02+90.50)/0.5+(121.96/1.65) =607人 2階：（大会議室面積+中会議室面積+和室面積）/0.5+（小会議室収容人数+研修室収容人数） =(69.92+43.97+33.79)/0.5+(18+12) =325.36[人] 消火器：1階床面積 960.27m ² より、必要能力単位 = 960.27 / 100 = 9.60[単位] 粉末（ABC）10型消火器 5本設置 = 3[単位] × 5[本] = 15[単位] > 9.60[単位] 2階床面積 534.54m ² より、必要能力単位 = 534.54 / 100 = 5.34[単位] 粉末（ABC）10型消火器 3本設置 = 3[単位] × 3[本] = 9[単位] > 5.34[単位] 避難器具：建築基準法令120条・121条2階収容人員 325.36[人] / 200[人] = 1.63より、2ヶ所設置 非常警報設備（放送設備付加）：1階 607 人 > 300 人より該当する。 2階 407 人 < 300 人より該当しない。	OK
18	法35条（令116条の2～令128条の2）	特殊建築物等の避難・消火	延床面積 1,494.81 m ² > 1,000 m ² より、該当する。	OK					
	令116条の2	窓その他の開口部を有しない居室等	別表1参照	OK					
	令119条	廊下の幅	両側居室：1.76 m > 1.60 m、その他の廊下：1.28 m > 1.20 m	OK					
	令120条	直通階段の設置	歩行距離：34.80 m < 40.00 m	OK					
	令121条	2以上の直通階段を設ける場合	2階の居室面積 359.56 m ² > 200 m ² より、該当する。重複距離：13.13 m < 20.00 m	OK					
	令125条	屋外への出口	歩行距離（階段）：6.99 m < 40.00 m、歩行距離（居室）：23.95 m < 40.00 m	OK					
	令126条の2・令126条の3	排煙設備	別表1参照	OK	【 別 表 2 消 防 無 窓 階 の 判 定 】				
	令126条の4・令126条の5	非常用照明	延床面積 1,494.81 m ² > 1,000m ² の為該当する。 居室及び居室から地上に通ずる廊下、階段、その他の通路に非常用照明を設置。	OK	【 階 】		【 計 算 式 】		
	令128条・令128条の2	敷地内通路	配置図参照	OK			A：室面積 W：必要開口面積		
19	法35条の2	特殊建築物の内装	延床面積 1,494.81 m ² < 1,000m ² より該当する。仕上表・別紙内装計算書参照	OK	1		A：963.29 m ² K：963.29/30=32.11 m ² < (0.98×2.85×2+1.75/2×2.85×2+0.94×2.85) _{AW1-1} +(0.97×2.40×4) _{AW1-2} +(0.97×2.85×2+1.78/2×2.85×2) _{AW1-3} +(0.94×2.85×4) _{AW1-4} +(0.97×2.85×4) _{AW1-5} +(0.97×2.85×3) _{AW1-6} = 63.234 m ² 0.75×1.20以上の開口部：0.98×2.85 _(AW1-1) 2ヶ所	OK	
20	法35条の3	無窓の居室等の主要構造部	窓その他の開口部を有しない居室：事務室（1F）、料理実習室（1F）、事務室（子育て支援室）（1F） 歩行距離 事務室：26.82 m < 30 m（令2国交告249号一ロ）、料理実習室：24.73 m < 30 m（令2国交告249号一ロ）、事務室（子育て支援室）：16.81 m < 30 m（令2国交告249号一ロ）	OK			2		A：533.84 m ² K：533.84/30=17.80 m ² < (0.86×2.23×3) _{AW8} +(0.89×2.23×3) _{AW9} +(0.98×2.44) _{AW16} +(0.98×2.44) _{AW18} ×2+(1.00×2.44) _{AW19} = 21.32 m ² 0.75×1.20以上の開口部：0.98×2.44 _(AW18) 2ヶ所
21	令21条、22条	居室の天井、床の高さ	居室の天井の高さ > 2.10 m（仕上表参照） 居室の防湿方法：防湿土間コンクリート	OK					
22	令23条、27条	階段	階段1：踏面 270mm 蹴上 173.8mm、階段2：踏面：240mm 蹴上：188mm	OK					
23	令112条	防火区画	○面積区画・異種用途区画 集会場：階数2 < 3、客席なし、主階1より、該当しない。 児童福祉施設等：179.55 m ² < 300 m ² より、該当しない。 ○堅穴区画 階数2 < 3より、該当しない。	OK					
24	令114条	建築物の界壁、間仕切壁及び隔壁	建築面積 957.06 m ² < 300m ² 、令115条の2 1項七号適合により該当しない。	OK					

工 事 名	図 面 内 容	縮 尺	担 当	検 図	年 月 日	株式会社 水野建築事務所		一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 水 野 芳 康	図 番
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）	建築基準法チェックリスト（1）	S	水野芳康 一級建築士 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21		静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955		A-17

建 築 関 係 法 令 チ ェ ッ ク 表											
【別表1 法28条 居室の採光・換気、令111条（無窓居室）、令116条の2（無窓居室）、126条の2（排煙設備）】						【別表1 法28条 居室の採光・換気、令111条（無窓居室）、令116条の2（無窓居室）、126条の2（排煙設備）】					
【階】	【室名】	【計算式】 A：室面積 K：採光補正係数 L：必要採光面積 V：必要換気面積 S：必要排煙面積						【計算式】 A：室面積 K：採光補正係数 L：必要採光面積 V：必要換気面積 S：必要排煙面積			
1	エントランス・サロン・図書室	A ₁ ：207.39㎡ A ₂ ：207.39（エントランス・サロン・図書館）-65.85（吹抜け）= 141.54㎡ K：明らかに1以上 L：207.39/20 = 10.37㎡ < (4.99×2.85) _{AW1-1} = 14.22㎡ V：207.39/20 = 10.37㎡ < (1.75×2.85) _{AW1-1} +(0.86×2.40×2) _{AW1-2} +(1.78×2.85) _{AW1-3} +(0.86×2.85×2) _{AW1-5} +(0.86×2.85) _{AW1-6} = 21.54㎡ S：141.54/50 = 2.84㎡ < (1.50×0.30×7) _{AW25} = 3.15㎡				OK	1	通路1	A：28.00㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用		
	居室	○						居室			
	火気使用							火気使用			
1	大ホール	A：171.02㎡ K _{AW22} ：(11.375/2.45)×6-1.4 = 26.45 > 3.0、K _{AW23} ：(11.370/2.45)×6-1.4 = 26.44 > 3.0、K _{AW24} ：(11.370/2.45)×6-1.4 = 26.44 > 3.0 L：171.02/20 = 8.56㎡ < (3.0×0.61×0.60×4) _{AW22} +(3.0×0.64×0.60×5) _{AW23} +(3.0×0.70×0.6×3) _{AW24} = 13.93㎡ V：有効な開口部を有しない→ 機械換気設備による S：171.02/50 = 3.43㎡ < (0.61×0.60×4) _{AW22} +(0.64×0.60×5) _{AW23} +(0.70×0.60×3) _{AW24} = 4.64㎡				OK	1	通路2	A：23.96㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用		
	居室	○						居室			
	火気使用							火気使用			
1	事務室	A：44.15㎡ K：- L：有効な開口部を有しない→ 令2国交告249号一〇 26.82㎡ V：有効な開口部を有しない→機械換気設備による S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（4）適用				OK	1	EVホール	A：7.77㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用		OK
	居室	○						居室			
	火気使用							火気使用			
1	給湯室	A：6.15㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（4）適用				OK	1	機械室	A：20.80㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用		OK
	居室							居室			
	火気使用							火気使用			
1	料理実習室	A：90.50㎡ K：- L：有効な開口部を有しない→ 令2国交告249号一〇 24.73㎡ V：有効な開口部を有しない→ 機械換気設備による S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（4）適用				OK	1	ホールバック	A：15.62㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用		OK
	居室	○						居室			
	火気使用							火気使用			
1	子育て支援室	A ₁ ：121.99㎡、A ₂ ：121.99（子育て支援室）+29.61（事務室）= 151.60㎡ K ₁ ：(2.99/1.535)×6-1.4 = 10.28 > 3.0、K ₂ ：(16.39/9.965)×6-1.4 = 8.46 > 3.0 L：151.57/10 = 15.17㎡ < (3.0×0.89×2.81×6) _{AW6} = 45.01㎡ V：151.57/20 = 7.58㎡ < (0.89×2.81×4) _{AW6} = 10.00㎡ S：121.96/50 = 2.44㎡ < (1.01×0.44×3) _{AW5} +(0.89×0.44×4) _{AW6} = 2.89㎡				OK	1	倉庫・納戸	A：- K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用		OK
	居室	○						居室			
	火気使用							火気使用			
1	事務室（子育て支援室）	A：29.61㎡ K：- L：有効な開口部を有しない→ 令2国交告249号一〇 18.61㎡ V：有効な開口部を有しない→ 機械換気設備による S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（4）適用				OK	2	2階ホール	A ₁ ：103.58㎡、A ₂ ：103.58㎡（2階ホール）+65.85（吹抜け）= 169.43㎡ K：明らかに1以上 L：103.58/20 = 5.18㎡ < (0.89×2.23×3) _{AW9} ×4 = 23.81㎡ V：103.58/20 = 5.18㎡ < (1.20×2.40) _{AD2} +(0.80×1.84×4) _{AW10} +(0.84×1.84×3) _{AW11} = 13.40㎡ S：169.43/50 = 3.39㎡ < (0.80×0.74×4) _{AW10} +(0.85×0.74×3) _{AW11} = 4.25㎡		OK
	居室	○						居室	○		
	火気使用							火気使用			
1	MWC	A：20.20㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用				OK	2	大会議室	A ₁ ：69.92㎡、A ₂ ：69.92+（大会議室）43.97（中会議室）+13.01（会議室前室）+3.69（収納）+9.62（収納）+3.78（収納）= 143.99㎡ K：(11.38/2.45)×6-1.4 = 26.46 > 3.0 L：69.92/20 = 3.50㎡ < (3.0×0.64×0.60×10) _{AW20} = 11.52㎡ V：69.92/20 = 3.50㎡ > (0.64×0.60×5) _{AW20} = 1.92㎡→ 機械換気設備による S：143.99/50 = 2.88㎡ < (0.64×0.60×6) _{AW20} +(0.66×0.60×6) _{AW21} = 4.68㎡		OK
	居室							居室	○		
	火気使用							火気使用			
1	MPWC	A：5.60㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用				OK	2	中会議室	A：43.97㎡ K：(11.375/2.45)×6-1.4 = 26.45 > 3.0 L：43.97/20 = 2.20㎡ < (3.0×0.66×0.60×6) _{AW21} = 7.12㎡ V：43.97/20 = 2.20㎡ < (0.66×0.60×6) _{AW21} = 2.37㎡ S：大会議室排煙計算に含む		OK
	居室							居室	○		
	火気使用							火気使用			
1	WWC	A：20.56㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用				OK	2	会議室前室	A：13.01㎡ K：- L：- V：- S：大会議室排煙計算に含む		OK
	居室							居室			
	火気使用							火気使用			
1	KWC	A：10.00㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用				OK	2	小会議室	A：33.75㎡ K：明らかに1以上 L：33.75/20=1.69㎡ < (1.80×1.50) _{AW13} ×2 = 5.40㎡ V：33.75/20=1.69㎡ < (0.80×1.50) _{AW13} +(0.80×1.50) _{AW26} = 2.40㎡ S：33.75/50=0.68㎡ < (0.80×0.50) _{AW13} +(0.80×0.50) _{AW26} = 0.80㎡		OK
	居室							居室	○		
	火気使用							火気使用			
1	WC	A：2.40㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用				OK	2	研修室	A：22.05㎡ K：明らかに1以上 L：22.05/20=1.11㎡ < (1.10×1.50) _{AW12} = 1.65㎡ V：22.05/20=1.11㎡ < (1.10×1.50) _{AW12} = 1.65㎡ S：22.05/50=0.45㎡ < (1.10×0.50) _{AW12} = 0.55㎡		OK
	居室							居室	○		
	火気使用							火気使用			
1	授乳室	A：3.60㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用				OK	2	和室	A：33.79㎡ K：明らかに1以上 L：33.79/20 = 1.69㎡ < (1.82×0.91) _{AW14} +(1.82×0.91) _{AW15} = 3.31㎡ V：有効な開口部を有しない→ 機械換気設備による S：33.79/50=0.68㎡ < (0.87×0.50×2) _{AW15} = 0.87㎡		OK
	居室							居室	○		
	火気使用							火気使用			
1	前室	A：6.00㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用				OK	2	和室前室	A：4.76㎡ K：- L：- V：- S：有効な開口部を有しない→ 建告1436号1項四号二（2）適用		OK
	居室							居室			
	火気使用							火気使用			

工 事 名	図 面 内 容	縮 尺	担 当	検 図	年 月 日	株式会社 水野建築事務所 静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955		一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 水 野 芳 康	図 番
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）	建築基準法チェックリスト（2）	S	水野芳康 一級建築士 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21				A-18



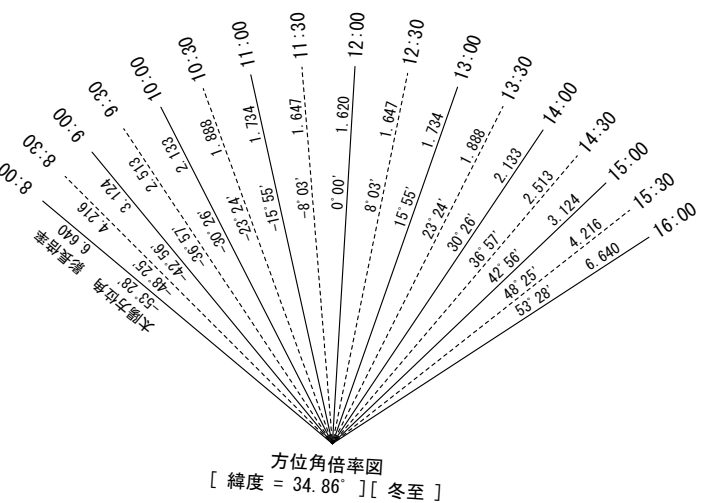
平均地盤面 = 設計GL-0.093[m]

影倍率表 [緯度 = 34.862°][冬至]

時刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	8°34'	-53°28'	6.640	-5.335	3.954
8:30	13°21'	-48°25'	4.216	-3.154	2.798
9:00	17°45'	-42°56'	3.125	-2.128	2.288
9:30	21°42'	-36°57'	2.513	-1.510	2.008
10:00	25°07'	-30°26'	2.133	-1.081	1.839
10:30	27°54'	-23°24'	1.888	-0.750	1.733
11:00	29°59'	-15°55'	1.734	-0.475	1.667
11:30	31°15'	-8°03'	1.648	-0.231	1.631
12:00	31°41'	0°00'	1.620	0.000	1.620
12:30	31°15'	8°03'	1.648	0.231	1.631
13:00	29°59'	15°55'	1.734	0.475	1.667
13:30	27°54'	23°24'	1.888	0.750	1.733
14:00	25°07'	30°26'	2.133	1.081	1.839
14:30	21°42'	36°57'	2.513	1.510	2.008
15:00	17°45'	42°56'	3.125	2.128	2.288
15:30	13°21'	48°25'	4.216	3.154	2.798
16:00	8°34'	53°28'	6.640	5.335	3.954

日影長さ表 [緯度 = 34.862°][冬至]
高さ=10.793(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=6.793(m)

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.640	45.106
8:30	4.216	28.639
9:00	3.125	21.228
9:30	2.513	17.071
10:00	2.133	14.489
10:30	1.888	12.825
11:00	1.734	11.779
11:30	1.648	11.195
12:00	1.620	11.005
12:30	1.648	11.195
13:00	1.734	11.779
13:30	1.888	12.825
14:00	2.133	14.489
14:30	2.513	17.071
15:00	3.125	21.228
15:30	4.216	28.639
16:00	6.640	45.106



方位角倍率図
[緯度 = 34.86°][冬至]

日影図 1:300

工 事 名	図 面 内 容	縮 尺	担 当	検 図	年 月 日	株 式 会 社 水 野 建 築 事 務 所 静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955	一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 水 野 芳 康	図 番 A-20
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）	日影図	S 1:1	水野芳康 一級建築士 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21			

外部仕上表					
外壁 1	コンクリート打ち放し仕上の上シラン系表面含浸材塗布（アクアシール1400同等品）	屋根 5	ウレタン塗膜防水	軒裏-2	有孔ケイカル板t6突付張り E P-G塗装
外壁 2	押出成形セメント板t18mm（ラムダパール同等品）	大庇	ガルバリウム鋼板t0.8mm 折板葺吊工法 h88mm	屋外階段	鉄骨垂鉛めっき
外壁 3	ガルバリウム鋼板 t 0.35mm 4行逆角波W360	幕板	StPL t 4.5mm 溶融亜鉛めっき	鉄骨部材	鉄骨亜鉛めっきの上、常温めっき塗装
屋根 1	アスファルト防水屋根保護防水密着断熱工法AI-3 保護コンクリート t80mm	壁 樋1	アルミパ ント レスタイフ	庇	StPL t=6mm 曲加工 リフト=9mm付 溶融亜鉛めっき
屋根 2	ガルバリウム鋼板t0.8mm 折板葺き H105mm ベフ付 t 4mm （本建式角ハセ折板H105（W250） 同等品）	壁 樋2	ガルバリウム 鋼板 製	水切	ガルバリウム鋼板 t 0.35mm
屋根 3	高分子系シート防水断熱接着工法	軒 樋	ガルバリウム 鋼板 製	笠木	ガルバリウム鋼板 t 0.4mm
屋根 4	ウレタン塗膜防水	軒裏-1	ケイカル板t6突付張り E P-G塗装		

内部仕上表											
居室	室名	天井高	床		巾木	壁		廻縁	天井		備考
			下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上	
1階											
○	エントランスホール	2,850~6,900	コンクリート金ごて	表面強化剤塗布	なし	P.Bt12.5下地 寒冷紗パテしごき	コンクリート打放仕上	なし	L G S下地 野縁@200mm	杉 1 2 × 4 0（準不燃）（QM-0236）	白華抑制タイプ ステンレスマットD1000×W2000×H20mm×@10mm 400-0250：RM2010ミツシマ工業同等品 ルーバー天井部の壁仕上は躯体まで張上げる
○	サロ ン①	2,850~6,900	コンクリート金ごて	表面強化剤塗布	なし	P.Bt12.5下地 寒冷紗パテしごき	コンクリート打放仕上	なし	L G S下地 野縁@200mm	杉 1 2 × 4 0（準不燃）（QM-0236）	白華抑制タイプ 造作ベンチ ルーバー天井部の壁仕上は躯体まで張上げる
○	図 書 室	2,850~6,900	コンクリート金ごて 一部コンクリート金ごて	表面強化剤塗布 タイルカーベツト t 6	なし	— P.Bt12.5下地 寒冷紗パテしごき	コンクリート打放仕上 不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	なし	L G S下地 野縁@200mm	杉 1 2 × 4 0（準不燃）（QM-0236）	白華抑制タイプ 造作ベンチ、造作カウンター ルーバー天井部の壁仕上は躯体まで張上げる
○	大 ホール	2,900~9,000	転がし根太45×45の上構造用合板 t 12mm	長尺塩ビシートt2.5mm	木製巾木H20 SOP	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき P.Bt12.5mm	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼 岩綿吸音板 t 12mm（NM-8599）	F見切 F見切	モルタル薄塗 P.B t9.5mm	EP塗装 岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	手動スクリーン、スクリーンボックス（造作）、鏡 天井補強
	ホールバック	3000	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	L G S下地	化粧石膏ボードt9.5mm(ジブトーン同等品)(NM-1864)	
○	事 務 室	2,900	転がし根太45×45の上構造用合板 t 12mm	タイルカーベツト t 6	なし	コンクリートの上モルタル薄塗	EP塗装	なし	—	コンクリート打放仕上	
	給湯室	2600	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼 一部コンクリート打放し仕上撥水材塗布	F見切	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	
	倉庫	2,600	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	L G S下地	化粧石膏ボードt9.5mm(ジブトーン同等品)(NM-1864)	
○	料理実習室	2,900	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	なし	—	コンクリート打放仕上	造作調理台
	納戸	2600	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	L G S下地	化粧石膏ボードt9.5mm(ジブトーン同等品)(NM-1864)	
○	子育て支援室	2,870	転がし根太45×45の上構造用合板 t 12mm 一部コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm 表面強化剤塗布	木製巾木H20 SOP	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき 繊維混入石膏板 t 6mm+4mmの上寒冷紗貼パテしごき 繊維混入石膏板 t 6mm+4mm 一部壁紙用マグネット下地 t0.85の上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼 不燃ビニルクロス（NM-3991）貼 不燃ビニルクロス（NM-3991）貼		—	コンクリート打放仕上	曲面：エッジボード同等品 洗面カウンター 洗面器 鏡：4500（YM4545FG TOTO同等品以上）
○	事務室 （子育て）	2500	転がし根太45×45の上構造用合板 t 12mm	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	繊維混入石膏板 t 6mm+4mmの上寒冷紗貼パテしごき 一部P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼 コンクリート打放仕上	F見切 なし	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	
○	子育て相談室	2500	転がし根太45×45の上構造用合板 t 12mm	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	
	倉庫 （子育て）	2500	転がし根太45×45の上構造用合板 t 12mm	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	L G S下地	化粧石膏ボードt9.5mm(ジブトーン同等品)(NM-1864)	
	授乳室/前室/WC	2500	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	耐水P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	
	KWC （子育て）	2500	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	耐水P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	洗面カウンター 洗面器
	MWC	2500	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	耐水P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼 一部コンクリート打放し仕上	F見切	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	洗面カウンター 洗面器
	WWC	2500	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	耐水P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼 一部コンクリート打放し仕上	F見切	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	洗面カウンター 洗面器
	MPWC	2500	コンクリート金ごて	長尺塩ビシートt2.5mm	ビニル巾木H30	耐水P.B t12.5mmの上寒冷紗貼パテしごき	不燃ビニルクロス（NM-3991）貼	F見切	P.B t9.5mm	岩綿吸音板 t 9（NM-8599）目地なし捨て貼り工法	
	倉庫(外用)	3000	コンクリート金ごて	防塵塗料塗り	なし	L G S下地	フレキシブルボードt5mm素地仕上	なし	L G S下地	化粧石膏ボードt9.5mm(ジブトーン同等品)(NM-1864)	
	機 械 室	3000	コンクリート金ごて	防塵塗料塗り	なし	L G S下地	フレキシブルボードt5mm素地仕上	なし	L G S下地	化粧石膏ボードt9.5mm(ジブトーン同等品)(NM-1864)	
	通路1	2900	コンクリート金ごて	表面強化剤塗布	なし 一部 木製巾木H20 SOP	— P.Bt12.5下地 寒冷紗パテしごき	コンクリート打放仕上 不燃ビニルクロス（NM-3991）貼		—	コンクリート打放仕上	

巾木は面ごとの壁と床の組み合わせにより、A-68を参照の事

工 事 名	図 面 内 容	縮 尺	担 当	検 図	年 月 日	 株 式 会 社 水 野 建 築 事 務 所 静岡県焼津市保福島528-1 TEL<054>629-3039 FAX<054>629-3955	一級建築士事務所登録第4171号 一級建築士登録第360853号 水 野 芳 康	図 番
令和6年度焼津市豊田地域交流拠点施設建設工事（建築工事）（債務負担行為）	仕上表（1）	N S	水野芳康 一級建築士 360853	水野芳康 一級建築士 360853	2024/03/21		A－2 1	